

2023年度
後期号

教授用資料



◆ 世界地図歩き
スリランカを訪ねて 帝国書院・2

◆ 新教科書での指導と評価のポイント
「主体的に学習に取り組む態度」の評価
をどう見取るかー公民的分野を例にー 石上 和宏・3

◆ 社会科学習 トラの巻②
「巡検」の方法と展開ーその2 「巡検」の実践ー
赤坂 寅夫・6

◆ ICTで学びが変わる！ 実践編④
タブレット端末を使いこなした実践提案
「日本の財政を再建せよ！」ー伊藤流！財政問題の本質
をとらえ、ICT教材で細部にこだわる授業ー 伊藤 郷・9

◆ 公民教室 専門家に聞いてみた
今、知りたい！ 法教育②ー「法教育教材集」で「契約」を
学ぼう！ー 村松 剛・12

◆ やってみよう！歴史でAL
小学校の歴史既習事項を生かした AL ②
ー時代の変化をとらえる学習の展開・「開国から明治
維新へ」を事例にー 山内 敏男・14

◆ 授業研究 地理
日本の諸地域 九州地方 自然環境に関連付けた
九州地方の特色をとらえる探究活動ージグソー法を
取り入れた学習活動を活用した協働的な学びの実践例ー
最所 健太・16

◆ 授業研究 歴史
二度の世界大戦と日本ー歴史から学んだことを、
これからの人生に生かすー 長井 利光・20

◆ 授業研究 公民
起業と投資を体験的に学ぶ授業の実践
田代 憲一・24

◆ 史料にみる歴史
近代の紙幣と肖像 関口 かをり・28

◆ 社会科ニュース・30





スリランカを訪ねて



2018年12月、スリランカを訪ねた。『中学校社会科地図』とともに当時の風景を振り返る。



↑見学ツアー後にいただいた紅茶



『中学校社会科地図』 p.38 ↑



↓『中学校社会科地図』 p.39



■ヌワラエリヤの紅茶栽培

スリランカ最大の都市、コロンボ(写真①)から列車に揺られること5時間、列車はヌワラエリヤの駅に到着した。現地の人々も多く利用する2等列車は終始日本の通勤列車のような混雑具合だった。セイロン島南部の山間に位置するヌワラエリヤは、多くが熱帯気候のスリランカ(『中学校社会科地図』(以下、地図帳)p.11~12)では珍しく西岸海洋性気候に属する地域である。その過ごしやすい気候からイギリス植民地時代に保養地として発展した。この地域は世界でも有数の紅茶用茶葉生産地として知られている。スリランカのおもな茶葉生産地の中で最も高所にあり、高品質の茶葉を生産している。

茶の栽培と加工は当地の観光資源にもなっており、多くの外国人観光客が訪れる。茶畑は町から一峠を越えた地域に多く立地している。日本の牧ノ原や知覧のような平坦な土地での栽培を想像していたが、この地では傾斜のきつい斜面に広がっていることに驚いた。茶摘みと製茶は午前中が作業のピークのように、朝早くから多くの人が茶畑を動き回っていた(表紙写真)。茶葉の収穫は人力で行われており、黙々と茶葉を摘みでは背中の籠へ入れていく。ある程度の茶葉が集まると大人がすっぽり

入りそうなくらいに大きな袋に詰められ、製茶工場へと運ばれていく(写真②③、地図帳p.39 ㉔)。この工場では加工される茶葉の中には日本のペットボトル紅茶飲料に使用されるものもあるのだという(地図帳p.39 ㉕)。現地では加工途中に細くなってしまった茶葉を利用したミルクティーがよく飲まれている。

■仏教に根ざした地、キャンディ

続いて、スリランカ中央部の中心都市キャンディへと向かった。ヌワラエリヤよりも標高が1000m以上低いためかなり暑く感じる。キャンディ王国の首都として栄えた同地は、現在も宗教的に重要な意味をもち「聖地キャンディ」として世界遺産に登録されている。その中でも特に重要なのがダラダー・マリーガーワ寺院、通称「仏歯寺」である(写真④)。読んで字のごとくブツダの歯を納めていると伝わっている。日に3度の祈祷の時間には本堂の扉が開かれ、遠くから仏歯を納めた箱を拝観できる。夕方の祈祷に訪れると、本堂の周りには花など思いの供物を手にした参拝者であふれかえっていた。ラッパや太鼓が演奏されるなか、本堂の扉が開かれると参拝者の列が進んでいく(写真⑤)。熱心に祈りを捧げる人々の姿が目についた(地図帳p.39④)。



「主体的に学習に取り組む態度」の評価を どう見取るかー公民的分野を例にー

大学非常勤講師 東京都立中学校 元校長 石上 和宏

1. 公民的分野における「主体的に学習に取り組む態度」とは

『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』（以下、『解説』）では、「知識・技能」と「思考・判断・表現」の観点で指導する内容について「**(2) 内容**」に詳細に書かれており、目標や評価規準を作成する際に活用できる。しかし、「主体的に学習に取り組む態度」については明示されておらず、どのように指導すればよい戸惑う先生方も多いのではないだろうか。そこで参考にするのが、各分野の「**(1) 目標 (3)**」である。地理的分野と歴史的分野の目標 (3) には、「…よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う」と書かれている。一方、公民的分野では、「…現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う」とされている（図1）。つまり、地理と歴史では、①よりよい社会の実現を視野に、②そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしているかどうかを評価する。一方、公民では、①現代社会に見られる課題の解決を視野に、さらに踏み込んで、②主体的に社会に関わろうとしているかどうか、科目としてのポイントとなる。また、中学校、高等学校の接続の点から、公民的分野と高等学校公民科「公共」を比較すると、『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 公民編』の「**(2) 目標 (3)**」に「現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う」とある。「公共」では、①現実に行き起きている現代の諸課題を取り上げ、②主体的に解決しようとしているかどうかを評価することになる。以上のことから、中学校公民的分野

(3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

図1 公民的分野の目標 (3)（『解説』 p.131）

では、高等学校のように、具体的な現代の諸課題の解決までは求めないまでも、「主体的に社会に関わろうとしている」かどうかを評価規準作成のポイントとなることを押さえておきたい。

2. CCAは評価としてふさわしくないのだろうか？ ー各観点を一体的に評価する

CCAとは、観点別学習評価において、「知識・技能」の評価がC（努力を要する）であり、「思考・判断・表現」もCである生徒に、「主体的に学習に取り組む態度」の評価においてA（十分満足できる）をつけられるのか、というものである。『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』においては、同観点を見取る際には「**知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価することが重要である**」と指摘されている。「知識・技能」「思考・判断・表現」を身に付けるために自らの学習を調整し、粘り強く学習している生徒が、この二つの観点の評価がともにCとなることは考えにくい。したがって、通常、CCAをつけることはないし、そうならないように指導するべきである。

旧課程における「関心・意欲・態度」の観点

における評価は、生徒のその時点の様子を見取るものであったのに対して、「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、生徒の学習中の取り組みの様子を継続的に評価の対象とし、「粘り強い取組」「自らの学習の調整」の二側面を評価する。そのため、「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点と切り離して評価すべきではない。例えば、「知識・技能」の習得上、学習の自己調整が適切に行われていない場合は、生徒自身がより適切な学習に向かえるよう指導することが重要であり、同時に授業改善につなげていく必要がある。

そもそも主体的とは、広辞苑によると、「ある活動や思考などをなす時、その主体となって働きかけるさま。他のものによって導かれるのではなく、自己の純粋な立場において行うさま」とある。「主体的な学び」のためには、まずは生徒の興味・関心を高めることが大事である。これから学ぶ内容が、自分の将来にとって必要な学習（真正の学習）であることを意識させ、自分ごととしてとらえさせたり、知的好奇心を喚起して興味・関心を高めさせたりすることが必要となる。そうすることで、生徒は自らの意思で学習を進めることができ、さらに、その取り組みが評価の対象ともなる。その意味で、授業の導入において学習へのモチベーションを上げることが今まで以上に必要となるだろう。

3. 単元のまとまりで授業・評価する

現課程では、1時間（50分）の授業単位ではなく、「内容のまとまり」を見通した授業が求められている。ある単元のまとまりが8時間であれば、8時間分の構成をどうするかを考え、その中で、教師が教える時間と生徒が学ぶ時間を設け、見通しを持たせたり、振り返りをさせたり、話し合いをさせたりする。例えば、8回で完結するドラマがあるとなると、1回ごとにそれぞれのテーマが完結するものの、ドラマ全体のテーマは、8回を通して展開される。回が進むに従って、ドラマの主題が見えてくるものである。これと同じように、1時間の授業でそ

の時間のねらいを達成していく一方で、「内容のまとまり」である単元全体を通して授業を展開させていく。その際、横糸が1時間の授業で、縦糸が単元を通した「問い」とイメージするのはどうだろうか。従前の単元計画に、学習項目だけではなく、発問や学習活動、目標・評価までを記述し、単元全体を通してストーリー性のある授業を展開することで、生徒は毎時間の学習内容の狙いを理解し、単元全体を通して何を学ぶのか、見通しをもつことができる。それが、生徒の主体的な学びにつながっていくだろう。

その際、1人1台配布されている端末を有効に活用したい。例えば、パフォーマンス課題を生徒に示した場合、授業中や家庭学習を通して調べたこと、感じたこと、考えたことを時系列で記入させていくと、それらが学習履歴となり、生徒一人一人に自己の学習を振り返らせることができる。さらに、生徒同士での共有が容易となることから、生徒同士の相互評価や学び合いにも活用できるため、生徒の興味・関心を継続させるうえでも有効だろう。

4. パン屋の企画書コラムを活用した展開例

ここでは、『社会科 中学生の公民』第3部「第3節 企業と経済」（p.127～144）から、「パン屋を起業しよう」コラムを取り上げる。第3節は、パン屋の起業という現実に関わりうる場面を想定して企業と経済活動について学ぶ構成になっている。冒頭でパン屋の企画書を書いてみて、実際に企業活動や金融のしくみを学びながら起業に必要な情報を段階的に組み込んでいき、単元の最後に、その企画書を振り返って修正するというものである（図2）。将来生徒が社会に出たときに直面するような、まさに「生きて働く知識・技能の習得」を図ることができる。そして本単元は、企画書の作成という継続的な取り組みができるため、生徒の粘り強い取り組みと自らの学習を調整する力を見取るには最適だろう。だがそもそも、今の中学生は起業に関心を持っているだろうか。ある調査では、日本の高校生は起業したり、店を持ったりした

1 今までの学習を振り返ろう

やってみよう1

1. この巻を通して選択してきた、パン屋の経営を振り返る。友達とも意見交換してみよう。

ページ	p.129～130	p.131～132	p.135～136
タイトル	②どのような形態で起業する？	③起業の資金をどう調達する？	④利益をどう配分させる？
ゆいの考え	理想を掲げずに自己を否定して販売する。場所は自由に選べないけれど、費用を少しでも抑えたい。	クラウドファンディングで集める。自分の熱い思いを伝えれば、賛同してくれる人も出てくるはず。	店下げてお客を呼び込み、販売数を増やす。店下げてお客を呼び込みに来た人が、私のお客を家に迎えられない。
あなたの考えは？	()	()	()
学んだこと	企業活動のしくみ	資金と関係のわり	企業競争
	p.137～138	p.139～140	p.141～142
	⑤人手不足にどう対応する？	⑥長時間労働を減らしたい！	⑦「食品ロス」をゼロを目指すには？
	人材紹介会社や人材派遣会社を活用する。人材の選考まで手が回らないので、採用業務を「分業」してもらいたい。	労働時間短縮を希望。お客さんの少ない時間帯は思い切って営業をやめれば、従業員の負担も減るはず。	労働時間短縮を希望。売り切れ、廃棄を減らす。「食品ロス」もゼロに近づけ、パンの廃棄も減らされる。
	()	()	()
	働きずの確保	新しい働き方	企業の社会的責任

2 企画書に必要な項目を確認してみよう

企画書には特に決まった形式はありませんが、どのような企業を起こしたいのかということを確認し伝えることが大切です。選んだ業種によって必要な項目は異なります。分からない項目やほかに必要な項目を、実際の企業のホームページや求人広告などで調べてみるのも一つの方法です。

企業名	事業内容	セールのポイント
キャッチコピー	事業所	資金
従業員数	開業期	開業期
労働条件	福利厚生	社会的責任

①企画書に必要な項目の一例

技能 みがく

自分が起こしたい企業の企画書を書いてみよう

パン屋の企画書を参考に、自分が起こしたい企業の企画書を書いてみよう。また、グループで発表してみよう。

書き方のヒント

自分の企業と同じ分野の企業について、実際の仕事内容や企業を取り巻く環境などを調べてみよう。実際に企業を訪問し、仕事を体験したり、お話を伺ったりすることも、企業への理解を深めるよい方法です。

海外進出を目指すために、海外にも支社を設けました。新たなゲームの企画や開発は、多様な人材を活用することが不可欠であると考え、社会的責任として盛り込みました。



企業名	株式会社 HIROTO
事業内容	ゲームアプリの開発
セールのポイント	世界中の人々に感動を与えるようなゲームづくりをめざします
キャッチコピー	「すばらしい体験をあなたに」
事業所	本社……東京 支社……ロサンゼルス、ロンドン シンガポール
資本金	50億円
従業員数	約1000人
取引先	神田銀行 南関東ソフトウェア
採用方針	アイデアや能力を重視します
労働条件	10～18時、企画・開発したゲームがヒットすれば、賞金アップ
福利厚生	有給休暇30日 育児休業・介護休業制度 社内保育所あり 短時間勤務制度・在宅勤務制度あり
社会的責任	女性の活躍を推進し、能力のある人を積極的に活用します

②ひろとの企画書

3 パン屋の企画書を修正しよう

やってみよう2

1. パン屋の経営を振り返って、p.128の企画書を書いてみよう。で書いた企画書を完成させよう。併せて、最初から変更した点をまとめてみよう。また、友達に書いた企画書と比べてみよう。



従業員にとって働きやすいように、子どもが小さくても働きやすい制度を導入しました。また、従業員のやる気を高めるために成績に応じて報酬を上げる制度も導入しました。

自分が書いた企画書と見比べると、どのような点を重視しているか、違いが見えてくるね。

→ゆいの企画書

企業名	株式会社 Le Pain (ル・パン)
事業内容	パンの製造・販売
セールのポイント	おしやれでヘルシーな、おいしいパンをつくり、満足していただけるよう努めます
キャッチコピー	おしやれでヘルシー
事業所	東京都品川区中目黒の住宅地、近(のデパート・パルク・アリス)
資本金	1000万円
従業員数	家族と正社員30名、パート社員50名
取引先	ふたばデパート・いちごオープン
採用方針	パンが好きな人、他店で経験のある人を優先して採用します
労働条件	午前勤務、午後勤務の交代制
福利厚生	新しいパンの企画で採用されて売れば時給をアップします
社会的責任	「食品ロス」をゼロに近づけて環境にも配慮します

図2 「企業の企画書を完成させよう」『社会科 中学生の公民』p.143-144

いと思っている生徒の数が他国に比べ極端に低いことが指摘されていた^{*}。そうした実態を踏まえ、生徒が本単元の内容に興味・関心を持ち、「生きて働く知識・技能」を習得するための工夫を紹介したい。

導入～第1時 本単元においては、生徒の実態を十分に踏まえたものとする必要がある。そのために、将来の職業や夢について生徒がどのように考えているか把握しておきたい。もし起業する意識の低い生徒が多ければ、「今は起業しようとは思わないかもしれないが、起業の方法を知っておけば、企業への見方が広がるし、将来の選択肢を広げることもできるよ」などの声掛けを行い、できるだけ生徒の興味・関心を喚起することが重要である。具体的には、指導書Webサポート内にあるワークシートを加工し、自分の将来について具体的に描かせることから始めたい。そのうえで、パン屋を開くとしたらどのような店にするか、できるだけ具体的に想像させる。後半は、グループ内でお互いの理想の店を共有し、より具体的な起業内容になるようアドバイスし合う。

第2～7時 店内の内装や売っているパンの種類など、具体的に想像させて生徒の興味・関心を喚起しながら、ワークシートに記入させる。その際、②「どのような形態で起業する？」は「家族経営か、人を雇うのか？」、⑥「長時間労働を減らしたい！」は「気持ちよく働いてもらうにはどうする？」など、生徒の実態に応じて問いかけを分かりやすく言い換えるとよい。自分の店を持つうえで必要なことが出てきたら企画書に付け加えていく。

第8時 今までの学習内容を踏まえて、具体的な企画書を完成させる。その際、実際の中生や高校生が起業した例などを参考にさせる。時間が足りなければ、家庭学習とするなど、納得のいくまで考えさせることが大事である。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、導入時から第7時までのワークシートの記入内容の変化、さらに第8時の企画書から見取っていく。ワークシートの記入では、クラスメイトや教師のアドバイス、学習内容をもとに、どれだけ修正案を付け加えているか、その変容をみる。企画書では、生徒が起業を自分ごととしてとらえ、社会にどのように関わろうとしているか、その姿勢の深まりを見取る。

5. まとめてかえて

「主体的に学習に取り組む態度」をどう見取るかは目下の課題ではあるが、まずは、「主体的・対話的で深い学び」のできる授業を実践することが重要である。「主体的・対話的で深い学び」のないところで、「主体的に学習に取り組む態度」の評価はできないことを心に留めておきたい。

^{*}日本経済新聞2023年7月4日付けに、日米中韓の高校生の職業意識に関する調査結果が掲載されていた。「自分の会社や店をつくりたい」という質問に「とてもそう思う」と答えた高校生は、他の3か国は23～27%いるのに対して、日本場合は8.5%であった。



「巡検」の方法と展開

—その2 「巡検」の実践—

元全国中学校社会科教育研究会会長 赤坂 寅夫



【質問】教員対象と生徒対象の「巡検」はそれぞれどのように行うべきか、教えてください。

その一 現地での観察による「？」と「！」

前号のまとめで出題した問い「東京都千代田区じんぼうちょうの神保町の古書店街と台東区たのわらまち浅草・田原町の仏具店街には共通の特色＝どちらも道路を挟んだ南側に店舗が集中している。それは、なぜか？」について解説します。

実際に現地に行かれた方でなくても写真を見て答えを導いた方が多いと思います。その答えは「日焼け（直射日光）による商品の劣化防止」のためです。この解説を誌面で読んで理解するより、実際に神保町・田原町に出かけ、良く晴れた日に古書店・仏具店の並びを観察することでその理由や背景が腑に落ちると思います。これによって前号の「巡検の意義」で示した「事象・景観を自分の目で観察することによって、地域・社会に対する好奇心・探究心が涵養され、地域への愛着心をもつ」の意味がおわかりいただけるでしょう。そして次に湧き出る問い「神保町に古書店が、田原町に仏具店が、なぜ集まったのか？」については、皆さんそれぞれが調べてみてください。

ポイント①



現地での観察に勝るものはなし

その二 巡検の観察のポイント

私は巡検を行う際に必ず参加者に問う視点が

あります。現地を訪れ、目の前にあるものをリアルにとらえることが巡検の目的であり、具体的データを実感・体感する貴重な場となると考えます。以下がその視点です。

- 方位…東西南北どちらを向いているか。
- 距離…100m・1kmはどこまでか。
- 広さ…学校あるいは工場の敷地は何㎡？
- 高さ…神社のある台地の高さは何m？
- 気温…今現在の外の気温は何度？

突然、上記の問いかけをされてもなかなか答えにくいのが現実です。そこでヒントを提供することが大切です。例えば、東西南北の方位を考える際には、太陽の位置・方向がヒントになります。簡単なことのようにですが、道に迷った場合の対処の仕方としても重要です。距離・長さを考える際には、電車の長さを提供します。例えば多摩川に架かる橋の長さを問いかけた場合、橋を通る電車の車両がヒントになります。一般の電車なら1両がほぼ20m、新幹線なら1両が25mで、その何両分かで長さを測ることができます。台地の高さはというと、およそ1階分を3mとして台地の下にあるビルの何階分かで測ることができます。

以上のような視点も含めて、私が目黒区中学校社会科研究会の研修で行った「東京都港区あた愛宕神社・増上寺ぞうじやうじ周辺の巡検」（写真①～④、図1）について、地理・歴史・公民の観点も踏まえた観察ポイントを紹介します。

- ①港区立御成門おなりもん中学校の正門前は海拔何m？
- ②中学校前の交差点から坂の向こうの交差点までの高度差は何m（写真①）？
- ③青松寺せいしやうじ周辺はなぜ寺院が多いのか？
- ④愛宕神社参道の石段（写真②）は何段？



↑写真1 御成門中学校前の交差点前方（西）に向かって標高が高くなっていく様子が見える。



写真2 愛宕神社から見下ろした様子→愛宕山の標高は25.7m、石段の段数は86段。ビルにして約9階分の高さ。



↑写真3 港区立芝公園内の災害用マンホールトイレ
災害時にトイレになるマンホールトイレなど災害に備えた施設が設置されている。



↑写真4 増上寺 大門
増上寺の総門・表門があったことが地名（芝大門）・駅名の由来。

- ・参道上に立つと、向かいのビルの何階と同じ？
 - ・参道の高低差は何m？
 - ・参道石段の傾斜角度は何度？
- ⑤愛宕神社の由来は？
- ⑥公園内には災害に備え、どのような施設があるか？
- ・災害用トイレ（写真3）を確認しよう。
- ⑦芝公園の一带は、江戸時代は何があったか？
- ⑧大門（写真4）の横にある掲示物「広重の東都名所『芝神明』『増上寺』」と現在を比較しよう。

この巡検は愛宕神社や増上寺を対象に歴史的視点からの巡検を中心としています。特に徳川家の菩提寺となり約25万坪（約83ha）の敷地であった江戸時代の増上寺が、現在はどのような範囲でどのように変遷してきたのか、現在の地図と江戸時代の絵図とを照合・比較^{*}することで、増上寺の周辺に寺院が集中していることや「大門」、「御成門」の地名・駅名の由来が理解できます。また江戸時代には江戸湾を見渡せる景勝地であり、勝海舟と西郷隆盛が江戸の町を見渡し江戸無血開城を決断したとされる愛宕山は、武蔵野台地の東端に位置し、港区には武蔵野台地に複雑に入り組んだ谷地と台地をつなぐ坂が多く見られます。愛宕神社はこの台地と低地の高低差が明確に観察できる好地点です。地図上に示されている25.7mのリアルな高さを石段の数

^{*}アプリ「大江戸今昔めぐり」や東京歴史MAPMAP(<https://mapmap.tokyo/tokyohistorymap/>)といったサイトで江戸時代の絵図と現代の地図を重ね合わせたものが閲覧できる。

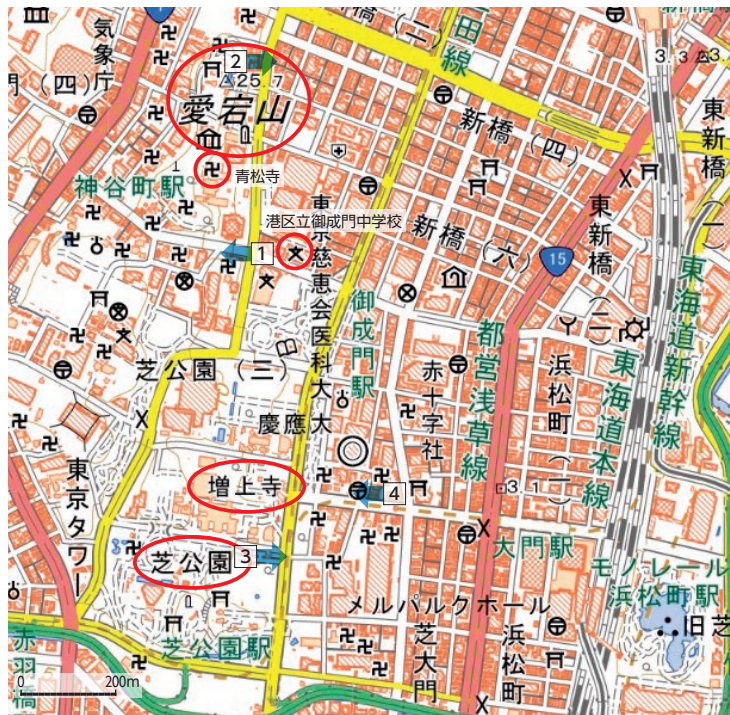


図1 港区愛宕神社・増上寺周辺の地図（国土地理院「地理院地図」より）

や周囲のビルの階数と照合することで、実際に現地を見る巡検の地理的意義が理解されます。また実際にその場に立つことで、歴史的的事象における地理的背景を理解することにもつながります。さらに芝公園内には、大都市における大地震発生時に備えた防災施設が設けられています。巡検ではその地域の自治体による防災や産業・経済振興を目的とした施設・設備を見学することも大切です。巡検で現在の地方自治の取り組みに触れることは、公民的分野での地方自治の学習において、地域住民として地域に主体的に関わる意識を醸成するという観点からも重要なことです。

このように、多様な視点から「リアル」を理解する巡検のコースを工夫することが大切です。

ポイント2



多様な視点から観察・調査できる場所やコースを工夫する

その三 発見する喜び・楽しさを体験させる生徒対象の巡検

先生方を対象とした巡検は、既習の知識の再確認やより深い見方・考え方につなげる観察・見学が比較的多いのですが、生徒を対象とする巡検は、初めての発見や日頃見慣れた事象に興味をもたせることが重要であると考えます。その意味で、東京都の事例ばかりで申し訳ありま

せんが、大都市ならではの事例を紹介します。
江東区立大島中学校での茂田井一人先生（現
中野区立北中野中学校勤務）の事例です。

江東区立大島中学校は、荒川と隅田川の河口
付近のいわゆる0m地帯に位置しており、学校
最寄りの都営新宿線大島駅を中心に10階建て以
上のマンションが建ち並び、広い通り沿いには
商店や飲食店が並び、学校周辺には2～3階建
ての一軒家と3～5階建ての集合住宅が多く見
られます（図2）。駅周辺の高層マンション、駅
から延びる商店街、学校周辺の住宅街という様
相は、都区内で多く見られる地理的事象です。
商店や住宅が密集し、交通量も多く生徒主体の
フィールドワークの実施が困難な学校における
「身近な地域の調査」の学習を次のように計画し、
実際の授業時間1時間分で巡検を実施しました。

「身近な地域の調査」9時間扱い

- 1～7時間前半 「身近な地域の調査」の学習
…地形図の学習や江東区についての地域学習
- 7時間後半 巡検の事前指導
…巡検の観察ポイントやワークシートの記入
方法についての説明
- 8時間目 巡検
- 9時間目 巡検のまとめ・考察

学校周辺での巡検の観察ポイントは以下の通
りです。観察で得た疑問・考えをワークシート
にそのつど記入させました。

- 建物の高さに注目しよう。
 - ・学校周辺の住宅は何階建てが多いか？
 - ・大島駅周辺は何階建てが多いか？
 - ・商店街は何階建てが多いか？
- 建物の中身に注目しよう。
 - ・学校周辺の住宅の1階は何が多い？
 - ・10階以上のビルの1階は何が多い？
 - 2～3階は何が多い？4階以上は何が多い？
- 新大橋通りを挟んだビルの高さに注目しよう。
 - ・通りの南側は10階建て以上、北側は3階建
てが多い（写真⑤）。それはなぜか？

巡検の時間は50分、しかも人通りの多い地
域ではていねいに説明できないので、事前指導
とワークシートに短時間で記入できる工夫が必
要となります。この事例では建物の高さの中身



写真⑤ 新大橋通り
周辺の様子
写真の左が南、右が北。



図2 江東区立大島中学校周辺の地図（国土地理院「地理院地図」より）
の違いに焦点を絞ったことがポイントです。

中学校周辺の住宅の多くは、1階が駐車ス
ペースになっています。これは地価が高く、限
られたスペースの有効利用が主な要因であると
ともに、0m地帯での防災対策としての要因も
考えられます。また高層ビルの1階はコンビニ
エンスストアやファミリーレストランなどの店
舗や飲食店、2・3階は学習塾や医院、事務所、
4階以上は住居スペースが多いことが特色です。
生徒は日常生活から駐車場や店舗、飲食店が多
いことは目にしていますが、その背景や理由に
ついては考える機会が多くはありません。

茂田井先生は本巡検のねらいを「地図では表
しきれない事象があることを現地の景観観察に
よって気付かせ、発見する喜びや楽しさを体験
させる」としています。現地観察で見た事象の
背景や理由を、事後学習において人口分布や地
価・交通量など地理的視点で検証することで、
巡検の意義が深まります。また、通りの南側と
北側の建物の階数の違いは日照権に関わってい
ることに気付くことで公民的分野での学習にも
つながります。これらの成果が本実践後の生徒
の学びにも表れています。

ポイント⑤



事象の背景を広く、深く追究させる
ために観察のポイントを絞ること

写真①～⑤ 筆者撮影

タブレット端末を使いこなした実践提案 「日本の財政を再建せよ！」

ー伊藤流！財政問題の本質をとらえ、ICT教材で細部にこだわる授業ー

東京都 渋谷区立上原中学校 指導教諭 伊藤 郷

1 主体的・対話的で深い学びを目指して

社会保障に関する厚生労働省の質問紙調査の最後に「社会保障の給付と負担についての考え方」をたずねる設問があった（「平成27年 社会保障における公的・私的サービスに関する意識調査報告書」対象年齢は20歳以上）。「わからない」と答えた割合」はどの年齢層も10%台であるが、最も高いのは20～29歳と30～39歳の2つの階層で、同率19.6%。若い世代の社会保障、ひいては国の財政に対する関心の低さは、危機的状況といえる。

中学生であっても、マクロな財政問題に対し主権者意識を持ち、判断し表現できるようになってほしい。そこで単元のねらいを「正しい知識をもとに、多角的に検討した上で、財政再建について自分の意見を持つこと」とした。

本単元で社会科の本質に迫るとともに、ICTで細部にこだわった次の3点の工夫から、財政の授業のポイントを提案していきたい。

- ①省庁が発行する統計・資料・ICT教材を活用する。
- ②公益財団法人生命保険文化センターのICT教材を活用する。
- ③Microsoft FormsアンケートやOneNote共同作業スペースを活用して、クラウド上で「学年内世論調査」を実施する。

2 教科書の活用

帝国書院『社会科 中学生の公民』学習者用デジタル教科書・教材^{*1}〔以下、教科書〕では、「経済年表」（図1）が用意されている。国債残高やGDPなど7指標の表示・非表示ができ、日本の経済状況を概観できる。教科書掲載のグラフにはレイヤーコンテンツ^④を備えている

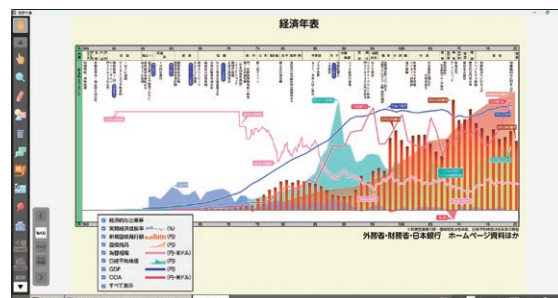


図1 経済年表（教科書ツールバーの機能一覧より）

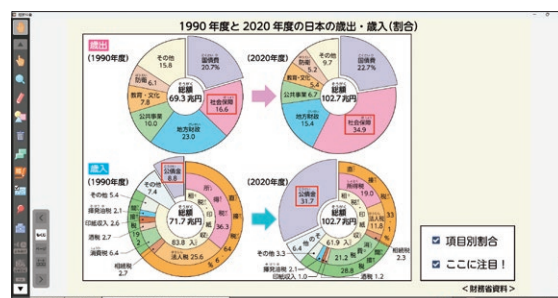


図2 教科書p.159「1990年度と2020年度の日本の歳出・歳入（割合）」

ものが多く、アイコンをクリックすると、関連資料が開き、気付かせたい部分が強調表示される（図2）。また、帝国書院ウェブサイトの法教育教材集では、経済の単元も扱っている。

3 学習指導要領における位置づけの確認

本単元は大項目「B 私たちと経済」の中項目「(2) 国民の生活と政府の役割」に位置づく。

（略）国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想（選択・判断）し、表現できるようにする。また、財政及び租税の意義、国民の納税の義務についての理解を基に、財源の確保と配分という観点から財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。

『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』p.142
（ ）は筆者注、下線は筆者による

日本の財政の未来を構想できるような問いを設定できるかどうかが重要である。

*1 本稿では、学習者用デジタル教科書・教材は、帝国書院が発行する中学校社会科の学習者（生徒）用のデジタル教科書にデジタルコンテンツ等を付加したものをさします。

4 「単元の問い」から逆算する授業デザイン

単元デザインで要としたのが先述した調査である(図3)。筆者は、質問紙最後の「問14」を、単元を通して追究する学習課題に設定した。国民が近い将来、結論を出すべき本質的な問いだと考えたからだ。

問14 少子高齢化により、高齢者を支える現役世代が減少していくことが見込まれますが、あなたは、医療、介護、年金、子ども・子育て支援といった社会保障の今後の給付と負担の関係は、どのようにあるべきだと思いますか。

あてはまるものを次の中から1つだけ選んで、該当する番号に○を付けてください。

1. 社会保障の給付水準を上げ、そのための負担増もやむを得ない
2. 社会保障の給付水準を維持し、少子高齢化による負担増はやむを得ない
3. 社会保障の給付水準をある程度引き下げつつ、ある程度の負担増もやむを得ない
4. 社会保障の給付水準を引き下げ、従来どおりの負担とするべき
5. 社会保障の給付水準を大幅に引き下げ、負担を減らすべき
6. その他 ()
7. わからない

図3 問14 厚生労働省「平成27年社会保障における公的・私的サービスに関する意識調査報告書」出典：厚生労働省ウェブサイト(<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000174288.html>)

生徒はこの問いを単元のはじめ(学習していない段階)に、まず考える。この時点では[7.わからない]で問題ない。そして単元の内容をすべて学習し終えた最後に、再度考え選択し、その理由を記述するレポートテストを実施する(400字30分以内、資料持ち込み不可)。根拠の記述中に、正しい既存知識や公民的な見方・考え方(効率、公正、希少性、トレード・オフ等)が活用されているかどうか評価する。

5 単元の構成例～山場となる学習活動～

教科書を確認しながら、各時間の授業内容を逆算して考えていくが、3つ山場がある。

山場1 自助の必要性をどう実感させるか？

学習指導要領では、自助・共助・公助の概念が重視されていることから、①公助・共助の授業(公的年金)と、②自助の授業(貯蓄と民間生命保険)を追加で設定する。①公助・共助の授業では、厚生労働省のICT教材(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000081367.html>)を活用したり、②自助の授業では公益財団法人生命保険文化センターのICT教材(<https://www.jili.or.jp/school/yokoku/8524.html>)を活用する。

少子高齢化社会における社会保障の充実・安定化…の意義を理解することについては、(中略)その際、貯蓄や民間の保険などにも触れ、社会保障の充実・安定化のためには、自助、共助及び公助が最も適切に組み合わせられるよう留意することが求められていることについても理解できるようにすることが大切である。

前掲書p.148、下線は筆者による

www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000081367.html)を活用したり、②自助の授業では公益財団法人生命保険文化センターのICT教材(<https://www.jili.or.jp/school/yokoku/8524.html>)を活用する。

山場2 財政をどう具体的に考えさせるか？

財政の議論は、漠然としがちだ。そこで財務省のウェブサイトから『これからの日本のために財政を考える』を活用。小学生でも理解できる内容だ。ここでは通称「ワニの口」(図4)を提

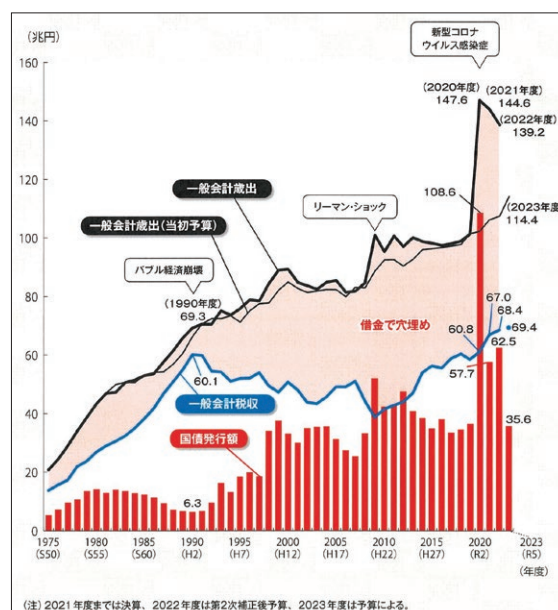


図4 歳出・税収・国債発行額の推移（「ワニの口」）出典：『これからの日本のために財政を考える』p.5 財務省ウェブサイト(https://www.mof.go.jp/policy/budget/fiscal_condition/related_data/202304_kanryaku.pdf)

示する。日本では歳出と税収の差が大きくなり、ワニが口を開けているように折れ線グラフが右端に向かって広がっている現状を把握させる。

次に財務省のICT教材「財務大臣になって予算を作ろう!」を活用する(図5)。これはExcelの教材であることから、歳出や歳入の項目について「10%増」や「現状維持」等をプルダウン選択すると借金総額とその増減が表示される設定になっている。タブレット端末を使い、生徒一人一人が入力を行う。「まだ借金が減らない!」などの声上がるだろう。徹底的に歳出を削らないと、財政赤字は減り始めない。

こうして財政の現状を肌感覚で感じ取り、数字で理解したうえで、「天の川」といわれる図6を見せる。各国の社会保障の負担と給付のバ

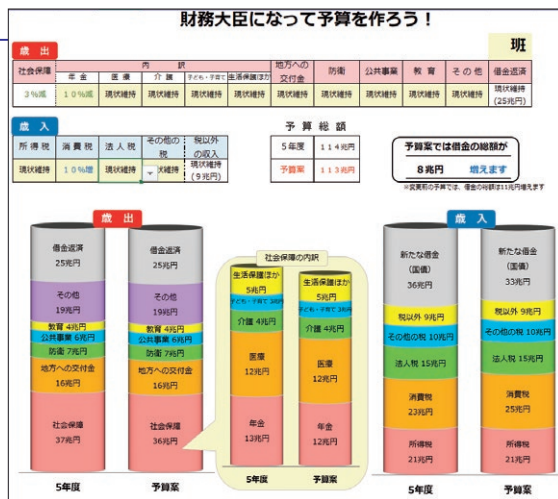


図5 予算編成シミュレーションツール 出典：財務省ウェブサイト「財政教育プログラム」(https://www.mof.go.jp/public_relations/zaisei_kyouiku/elementary_and_junior/index.html)

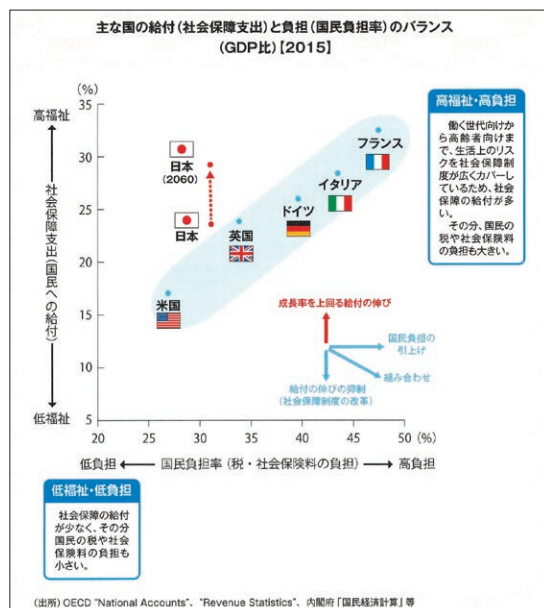


図6 主な国の給付(社会保障支出)と負担(国民負担率)のバランス(「天の川」) 出典：図4前掲書 p.13

ランスを表したもので、左下の米国から右上のフランスまで天の川のように分布するが、日本は大きく外にはみ出している。この図をもとに「2060年の財政をどうすべきか？」を考える。「大きな政府か小さな政府か」という二者択一方式ではなく、この図を活用することで、より現実的に財政再建(日本はどのように天の川へ近づくか?)を考え始めることができる。他国の社会保障の給付内容、税負担率について調べる学習を入れてもよい。37年後の自分を想像しながら、3つの選択肢(①国民負担の引き上げ、②給付の伸びの抑制、③上記2つの組み合わせ)から選ぶ。班での意見交換後、話し合った内容を学級やクラウド上で共有する。

山場3 財政の未来をどう構想させるか？

最終回、レポートテストで図3の設問について

*2 Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の四つの頭文字をとった予測が困難な状態を意味する言葉。

て再度考え、選択する。そして考えた根拠を記述。評価については「7.わからない」を選択した場合はC、それ以外を選び、既習知識を正しく活用し、根拠が明確で公民的な見方・考え方を働かせていればB、より独創的かつ実現可能性が高く、多面的・多角的な提案があればAとする。

発展形として、Formsで選択した結果を集計し、OneNote上で意見を共有する「学年内世論調査」はどうか。保護者も巻き込み、教室外でも議論が続くような仕掛けとなるはずだ。

6 学びを深めるための+α

教師の見方・考え方の引き出しを増やし、生徒に問いかけてみることも必要である。「高齢者を若者が支える」という見方に加え、「働けない人を働ける人が支える」という見方をしてみると、厚生労働省は経済成長と労働参加が適切に進めば、非就業者数1人に対する就業者数は2010年は0.97だったのが、2030年には1.09人になる見通しを示している。つまり若者・女性・高齢者・障がいのある人などのあらゆる人が働きやすい環境を整備することで労働人口と税収が増え、財政再建につながると考えられる。

年齢階級別完全失業率という見方を働かせると、高齢者よりも若者世代の完全失業率が高いことがわかる(2022年時点で男女とも15~24歳が最多、次が25~34歳。出典：独立行政法人労働政策研究・研修機構「早わかり グラフでみる長期労働統計」)。若者世代にも社会保障が必要で、教育も大切だという意見も考えられる。

7 おわりに

よい授業こそが、子どもたちが「未来を切り拓く力」を培う第一歩となる。われわれ教育関係者の日々の努力も、財政の未来、日本の未来に影響する。「この授業で、VUCA^{*2}時代を生き抜くために必要な資質・能力が身につくのか？」自問自答は続く。「タブレット端末を自律的に使いこなす、未知の課題に挑み続ける探究者」を育てる授業に共に悩み、挑戦し続けよう。

専門家に
聞いてみた

法教育②

—『法教育教材集』で「契約」を学ぼう！—



1 はじめに

今回は、「バスケットボール部のルールを考えよう」を題材に、ルールの意義や必要性を扱う際の視点をお伝えしました。

今回は、契約を取り上げます。契約自体は法制度ですが、『社会科 中学生の公民』（以下、教科書）では「第3部 経済」に位置づけて教えます。私は経済の専門家ではありませんので、ここでは「法教育の視点から契約や経済を考える」とのテーマで、私なりの考えをお伝えしたいと思います。

2 学習の中に「契約」をどう位置づけるか

学習指導要領において「契約」は、A「(2) 現代社会を捉える枠組み」に出てきます。ここでは「契約を通じた個人と社会との関係（中略）について多面的・多角的に考察し、表現すること」と記載されています。自由な存在である一人ひとりが、契約という法的な約束をして拘束関係に入ることにより、他者や社会と繋がっていくことになります。すなわち、契約は、人が他者や社会と接点を持つ道具なのです。

今回の学習指導要領では、経済分野の見方・考え方として、新しく「分業と交換」が示されました。しかしながらよく考えてみると、見知らぬ人との間で「分業と交換」が成り立つことは不思議だとは思いませんか。これを制度として支えているのが、実は契約なのです。

これまでの学校教育では消費者の保護との関係で契約を扱ってきましたが、契約が経済活動の基盤となっている視点を持つことは、より広い視野で授業を進めることに寄与するものと思われます。

3 法教育から見た経済分野の視点

教科書の「第3部 経済」が扱う内容は広範ですが、法教育的には、「自由」と「公正」の2つの視点が大切だろうと考えています。

まず、わが国の資本主義経済を支える大前提は自由です。市民革命はブルジョアジーがこの自由を求めるために起こした政治変革であり、人権はその訴えを普遍化したものでした。ちなみに学習指導要領の見方・考え方に即していえば、自由は「対立」の前提となる価値です。

次に、経済活動は費用対効果、すなわち効率を重視します。私的な活動において「いかに効率よく儲けるか」を追及するのは合理的な思考です。しかしながら、そのような経済活動は時に行き過ぎがあり、この場合のゆがみを是正して市場に公共性を持たせることが求められます。学習指導要領の見方・考え方に即していえば、「効率」に対する「公正」の視点となります。

このように見ていくと、経済の理解の根底には、教科書の第2部第1章「日本国憲法」で学んだことが横たわっていることが分かります。このような視点を持って経済の授業を組み立てていただくと、学び全体の関連性が増し、より深い学習になるものと思われます。

4 『法教育教材集』を活用しよう！

では今回は、法教育教材集の中から「**ワンクリックで契約成立？**」を見てみましょう。なおこの教材は、契約を身近に感じるとともにその基本的な知識の習得を目指すものでありますが、これまで述べた大きな視点を踏まえて授業していただければと思います。

生徒が生活の中で直面する契約問題を主体的

おすすめサイト

- 日弁連 (<https://www.nichibenren.or.jp/activity/human/education.html>)
- 法教育フォーラム (<http://www.houkyouiku.jp/>)
- 帝国書院『法教育教材集』
(<https://www.teikokushoin.co.jp/houkyouiku/index.html>)



日弁連



法教育フォーラム



『法教育教材集』

専門家の先生

弁護士 村松 剛 先生

日本弁護士連合会 市民のための法教育委員会 委員長。元 神奈川県弁護士会 副会長。元 法務省 法教育推進協議会 委員（2008～2019年度）。著書に、『中学校のための法教育11教材』（東洋館出版 2018年）ほか多数。



に考えられるようになるには、契約の基本構造を理解しておくことが必要です。そこでまず本教材では、ワークシート（図）の1項と2項において、この点を確認します。ここでは、契約が成立した場合の効果（相手に請求できること〈権利〉・相手のためにしなければならないこと〈義務〉）を意識して欲しいと思います。なぜならば、現実の経済活動では、この効果を念頭に置いて、相手と契約関係に入っていく（あるいは相手から契約締結を求められる）からです。

続いてワークシート3項と4項では、1項・2項で習得した契約の基本構造を活用して実際の事例を考えます。4項では、ゲーム会社の立場など多角的に検討させることにより、社会を支える契約の役割について理解を深めます。

最後に、ワークシート5項と6項で、契約に関する生徒の思考を深める作業をします。

このように授業はシンプルですが、「**弁護士からのアドバイス**」では教師の皆さんが不安なく契約の授業に臨むための情報をコンパクトではありますがしっかりと盛り込むことを心掛けました。具体的には、契約が自由を基礎としていること、契約に法的拘束力があることによって分業と交換が成り立つこと、消費者契約の一定の類型では公正の観点から契約自由の原則が修正されていることなど、先ほどお伝えしたことは解説で言及しています。また、インターネット取引の特徴や契約の授業で押さえておきたい法律の条文も列挙しました。

ところで、教科書p.123～124「技能をみがく7」では、同じような流れで契約について考えるコーナーが掲載されています。したがって、授業でこのコーナーを活用する際には法教育教材集の解説は参考になるはずです。もちろん、このコーナーに代えて法教育教材集を利用されてもよいでしょう。

第Ⅱ部 ワークシート

「ワンクリックで契約成立？」

～契約の成立と消費者保護～

組 番 名 前 _____

1 契約とは？

買い手

売り手

ジュースを150円で買います。

ジュースを150円で売ります。

契約が成立すると…	相手に求めることができること (権利)	相手にしなければならないこと (義務)
売り手		
買い手		

2 次のA～Dのどの時点で契約が成立するでしょう？

A

商品をかごに入れたとき

B

商品をレジに持ってきたとき

C

レジでお金をはらったとき

D

商品を受け取ったとき

3 事例1で契約は成立したといえるでしょうか (いえる ・ いえない)

理由 (あなたがAさんの立場なら、どのようなことを言いたいですか？)

4 事例2で契約は成立したといえるでしょうか (いえる ・ いえない)

理由 (あなたがBさんの立場なら、どのようなことを言いたいですか？ゲーム会社やスマートフォン会社の立場ならどうですか？)

図 ワークシート

5 むすびに

契約は技術・家庭科でも扱いますので、そのことの連携ができれば、より高い学習効果が期待できます。その場合、技術・家庭科では、個人が選択・判断する際の視点の習得が中心となり、社会科では、契約の社会的意義や役割の理解が中心になると思われます。

また、高等学校の「公共」では、「多様な契約」を取り上げるとされています。これは、前述の通り、人が社会に参画し自己実現を図る道具として、契約に関する理解が重要だからです。したがって、中学校段階では、契約の基本構造とその役割をしっかりと教えることが大切と考えます。なお、法教育教材集「『成績UP！』って書いてあったよ！」は、契約の基本構造を押さえつつ、賃貸借契約、雇用契約、請負契約及び委任契約の各特徴を解説しています。よろしければそちらもご覧ください。

*『法教育教材集』については、本誌裏表紙もご覧ください！

小学校の歴史既習事項を生かしたAL② —時代の変化をとらえる学習の展開・「開国から明治維新へ」を事例に—

兵庫教育大学 教授 山内 敏男

1 はじめに

小学校の学習では、時代の変化をとらえる場合、「時代を変えたのは誰か」、「どのように変えたのか」、「どのような思いや願いに基づき政治を進めたのか」などの問いによって授業が展開されます。つまり、人物の行為から学習します。一方、中学校では「出来事はどのような影響を与えたのか」、「社会（政権）はどのように対応した（政策をとった）のか」など、社会や政治の動きから学習する原理となっています。組織や社会の動向から変化をとらえていくことから、人物との関連が把握しにくい点に留意が必要です。この点を踏まえ、今回は時代の変化をとらえることについて、開国から明治維新を事例に既習事項を生かした学習の提案をします。

2 授業の構成・展開

幕末から明治維新にかけては、人物と出来事とが容易に結びつかず、人物の属性（例えば幕府や雄藩のどこに所属しているのか）など、人物と社会との関係が複雑であるがゆえに分かりづらさが際立っています。加えて、その複雑さは歴史の流れ、つまり推移や変遷を単純な時系列で説明しづらいことにもなります。近代の学習では、このわかりづらさと説明しづらさを改善することが必要です。手立ての一つとしてあげるのは、**関連づけを繰り返す**ことです。

【活動1】既習事項と関連づける

開国について小学校では「1853年、ペリーが来航し開国を求め、翌年に日米和親条約を結んだ」こと、「1858年に日米修好通商条約を結んで外国との貿易が始まり鎖国の状態が終わった」ことが取り上げられています。『社会科 中

学生の歴史』（以下、教科書）では、開国を扱う前（p.160～161）に東アジアにおける外国船の度重なる来航、アヘン戦争の影響などが示されています。導入ではこれら既習事項を板書なりプレゼンテーションなりで示して確認します。同時に生徒は各自で（電子）ホワイトボードなどを用いて既習事項を時系列（縦軸）、地域別（横軸）に書き込んでいきます。年表風にまとめてもよいのですが、後で出来事に情報を付加していくことから、ウェビングマップ風に書き込んでいくことを提案します（図1）。

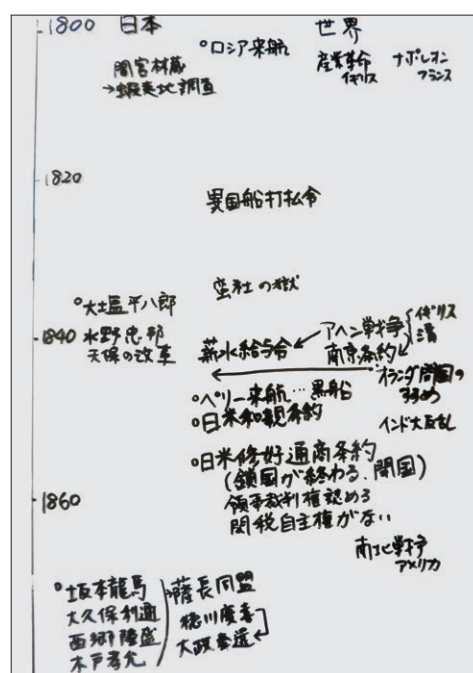


図1 生徒の既習事項の書き込み例
左端丸印は小学校で学習した出来事、人物

この活動でぜひ取り組みたいのは、**出来事と人物とを関連づけ、変化の過程として書き込んで位置づける**ことです。この書き込みにより、**出来事にかかわる人物、属性の状況が可視化**されます。このことは、授業者にとってもメリットがあります。既習事項と関連づけの書き込みから、小学校やクラスごとで何をどこまで学習

したのか、個人における定着度などを推し測ることができます（この段階での既有知識はそれぞれで異なることを前提としたいところです）。

【活動2】未習事項と関連づける

次に、既習事項と未習事項を関連づけ、同時期の世界の様子と、その前後における日本やアジアの動向へと視野を広げます。小学校の教科書、中学校の教科書p.164～165の記述を踏まえ、授業者が想定する未習事項を①国書を受け取った後の幕府の対応、②ペリーの来航でアメリカが開国を求めた理由とします。既有知識の程度が異なることを踏まえると、既習・未習であるかどうかの判断は生徒に委ねるとよいでしょう。図2のように未習事項は色を変えるよう指示することで、既習事項と未習事項にかかわる自己調整が期待できます。

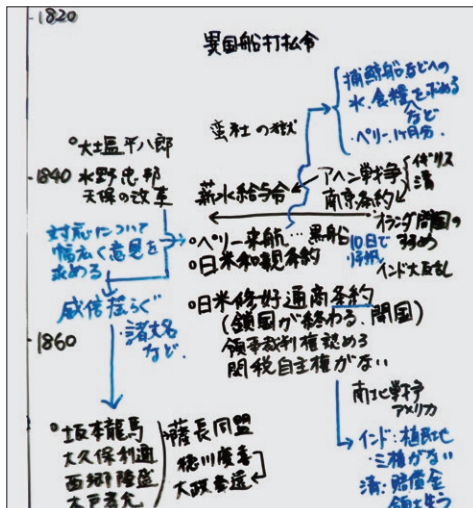


図2 生徒の未習事項の書き込み例（青字、部分）

①では、教科書p.164本文「幕府は初めて諸大名や下級の幕臣などに幅広く意見を求め、朝廷にも報告を行いました。天保の改革の失敗に加え、これまでにない対応をしたことで、幕府の威信は大きく揺らぎました」に着目します。諸大名などに相談することがなかった状況との差異を示し、「威信が揺らぐとどのような影響を及ぼすか」の問いにより、生徒は幕藩体制が変化の兆しを見せたことをとらえられるでしょう。

②では、アメリカの貿易船や捕鯨船への水、食料の補給などのためだということを教科書p.164本文、コラム「地域史」から押さえます。そして1953年の浦賀来航時はなぜ10日間で帰帆したのかを問い、ペリーが置かれていた状況、

資料「ペリーの日記1853年7月16日」¹⁾

食料も水も十分ではなく、頑張っているのはせいぜい1カ月だった。（幕府が）時間稼ぎするのは簡単だし、結局何の成果も得られず出帆する羽目になるかもしれない。

条約締結に至る背景を把握します（資料）。なお、ペリーは、フィルモア大統領から「発砲厳禁」の命令を受けていました²⁾。宣戦布告は議会が行うとされ、勝手な交戦はできないことによるものです。戦争を前提としない来港であり、日米和親条約は日本に不利な条項があるものの従属を強いるものではなかったことから、幕府の交渉力とも関連づけができるでしょう。

【活動3】明治政府による「近代化」への見通しをもつ（今後の学習と関連づける）

続いて、日米修好通商条約で貿易を始めたことにより物価高、金の流出が起き経済が混乱したこと（教科書p.165）を押さえ、活動1、2を踏まえ、その後の変化を問います。政治と経済の混乱による影響（幕府権威の低下、尊王攘夷論の高まりなど）を関連づけ、幕藩体制が置かれた状況を把握します。そして、欧米諸国と他のアジア諸国（植民地とされたインドや、アヘン戦争敗戦により賠償金と領土割譲を強いられた清）との関係を確認し、開国の際、日本がどのように欧米諸国と向き合ってきたのかをとらえます。最後に、こうした状況を前提とした「明治政府による『近代化』は何を目指そうとしたのか」を問うことで、次時以降の見通しをもたせる活動につなげることができます。

3 おわりに

既習事項に着目して関連づけを繰り返し、社会の状況と人物の行為を書き込むことで、時代の変化がより明確かつ多面的・多角的に導き出せます。その際、意見交流を行い、関連づけたことを紹介し合うことで、これまで気付かなかった関係を理解していくことができるでしょう。

〈引用文献〉

- 1) M・C・ペリー原著 木原悦子訳『ペリー提督日本遠征日記』小学館、1996年、p.78-79より一部要約、抜粋
- 2) 加藤祐三『幕末外交と開国』筑摩書房、2004年、p.67-69



地理

日本の諸地域 九州地方 自然環境を関連付けた九州地方の 特色をとらえる探究活動

—ジグソー法を取り入れた学習活動を活用した協働的な学びの実践例—

福岡県 福岡市立吉塚中学校 主幹教諭 最所 健太

1 はじめに

「日本の諸地域」のスタートとして学習することの多い九州地方は、諸地域の学習の方法を示すために重要な地方といえる。第2章の「日本の地域的特色」で学習した自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信などの視点を用いることで、動態地誌的に地域的特色をつかむことができる。

2 九州地方の自然環境を大観する

九州地方は、阿蘇山や桜島を中心とした火山帯、大きな川に囲まれた開けた平野、美しい海に囲まれた島々などの豊かな自然環境があり、日本国内からはもちろん、海外からの観光先としても人気の高いエリアである。このような豊かな自然環境を中核として「九州地方の自然環境は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているだろうか?」という単元を貫く問いに対して、生徒がどう考えを深めて答えを導いていけるか、授業案を提案する。「九州地方の豊かな自然環境」を中核とし、「九州地方の人々の生活」、「九州地方の農業」、「九州地方と他の地方や海外とのつながり」、「九州地方の工業への影響」、「南西諸島の産業や文化・歴史への影響」とらえさせる授業（全5次）を構想した。

第1次の学習では、『社会科 中学生の地理』（以下、教科書）p.171、p.172～173から九州地方の特色を挙げさせる。生徒からは遺跡や建造物の特徴から、「九州地方は歴史が古い」、作物や畜産の絵から「九州地方は農業や畜産業がさかん」、

p.172～173の由布岳の様子や南の海でのダイビングの様子の写真から「九州地方は自然環境が豊か」などの発言が出された。その際、協働活動としてさまざまな生徒の考えを引き出すために、p.171、p.172～173から読み取れることをホワイトボードやクラスの考えを集約しやすいMentimeter（メンチメーター）※¹（図1）を活用して視覚化してもおもしろい。一通り生徒の考えを挙げさせたうえで、自然環境が豊かなことに着目し、「九州地方は沖縄まで含めると北から南まで何kmあるかな?」といった発問で、福岡県から沖縄県の地理的な距離の大きさを実感させ、p.175の雨温図【7九州地方の主な都市の雨温図】から、九州地方の気候の多様性をとらえさせる。

前単元の「日本の地域的特色」で学習した日本の気候区分を見分ける技能を活用する場面として、各地方において主に第1次の授業で雨温図に触れる場面は必ず作り、日本の気候区分の見極めができるよう指導することを大切にしている。各地方で必ず出てくる雨温図は各地方の自然環境を比較しながら読み取ることが容易にできる題材であり、生徒が自分が住んでいる地域の特色を客観的にとらえる格好の題材といえる。また、九州の豊

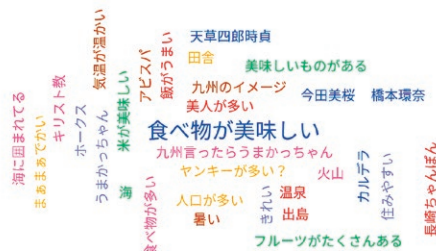


図1 メンチメーター WordCloudで表示した生徒の回答
※1…<https://www.mentimeter.com/>



図2 生徒が作成した九州地方の自然環境をまとめた白地図

かな自然環境を実感させるために、白地図を用意^{※2}し、p.174「**1**九州地方の自然」の図から主な山地・火山・平野・海・川・海流を実際に書き込ませた(図2)。こうすることで、その後の自然環境を中核とした学習につなげやすいと考える。

3 ジグソー法による協働的な学びで自然環境と学習内容を関連付ける

第2次では、教育環境デザイン研究所 CoREF が提唱する知識構成型ジグソー法(図3)を取り入れ、生徒が主体的に九州地方の自然環境をさまざまな学習内容に有機的に結びつけながら理解を深める学習を構想した。5つの学習内容ごとに、**①**「九州地方の人々の生活」、**②**「九州地方の農業」、**③**「九州地方と他の地方や海外とのつながり」、**④**「九州地方の工業」、**⑤**「南西諸島の産業や文化・歴史」としグループ分けをした。まず、自分の分かっていることを意識化するために、この5つの内容について班のメンバーに今知っていることをGoogle Jamboardに挙げさせた(図4)。その後、個人が担当する学習内容を決め、エキスパート活動を行う。その際、教師はエキスパート活動が行われている場所に移動しながら不足している視点を指摘する必要がある。例えば、**①**のグループでは人口が

※2…帝国書院『社会科 中学生の地理』指導書Webサポートより利用できる。

図3 ジグソー法を取り入れた学習過程(教育環境デザイン研究所 CoREF ウェブサイト内 知識構成型ジグソー法より作成)

集中している地域の自然環境の特色に気付かせるために、『中学校社会科地図』(以下、地図帳)p.87の九州地方の主題図「**①**自然」と「**③**人口分布」の相関をとらえさせる。ここで生徒は「福岡市や佐賀市、久留米市などは、平野が広がっている場所に人口

が集中している」、「大分市や宮崎市などの中心部には大きな川が流れている」ことに気が付き、世界の諸地域や日本の地域的特色でつかんだ一般的共通性を九州地方にも見出し、法則としての有効性を実感することができる。また、**③**のグループに対しては、地図帳p.88の主題図「**⑩**北九州工業地帯の変化」から、中国やマレーシア・インドなどのアジアとの関係に気付かせ、アジアに近い九州の地理的位置をとらえさせることができる。地図帳の主題図は、生徒がテーマを持って調べ学習をする際、教科書の記述だけでなく、より深く地域的特色をとらえさせるために、大いに役に立つものである。その際、教師による発問やワークシートにあらかじめヒントとして地図帳の主題図のページを記入するなどの工夫で、生徒が主体的に特色をつかむ一助としたい。また、近年頻発している自然災害への気付きとして、地図帳p.88の主題図「**⑫**火山災害への備え」には必ず触れさせ、九州地方に多い火山地帯の防災の特色を確実につかませていくことが重要である。そこから発展させ、大きな川や降水

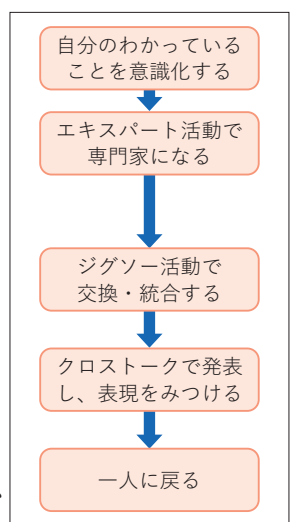


図4 九州地方の導入で生徒が作成したJamboard

量に着目した九州地方の大雨災害の特徴を調べさせることも必要であろう。

今回取り入れた知識構成型ジグソー法を用いるメリットとしては、3点挙げられる。1点目、「生徒が主体的に学習に取り組むきっかけ作り」となる。令和3年1月に出された中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」の「3. (1) 子供の学び」には、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、学びの動機付けや幅広い資質・能力の育成に向けた効果的な取組を展開していくことによって、学校教育が個々の家庭の経済事情等に左右されることなく、子供たちに必要な力を育んでいく」と述べられている。第1次の九州地方の自然環境の学習において、写真資料や協働活動で、九州地方についての関心を高めたいと調べられる内容を選択できるため、エキスパート活動に対して主体的に取り組むことができる。2点目、「責任を担い、役割を果たす達成感を感じる活動」となる。班の代表としてエキスパート活動を行うため、責任感をもって取り組むことができる。社会科地理的分野に苦手意識がある生徒は通常の調べ学習では積極的になれず、最終的に他者が調べた内容をただ写すことが多くなってしまうことがある。その場合は単なる暗記すべき内容となり、社会科嫌いの一因となる機会を我々授業者が作ってしまっているといえる。中学生にとって、班員のためにやらなければならないという状況を作ることも時には必要である。3点目、生徒が自分の調べた内容を「表現し伝える経験」となる。授業時数が許される場合は、発表して他者に伝える機会を作るべきではあるが、授業時数が限られている時は、お互いの調べたシートをタブレットの写真機能を使って画像として残し、自分のシートに記入するようにしてもよい。その場合も、自分が調べた内容の説明を求められたり、不十分な部分の指摘があったりする場面が自然に発生することが多く、自分が調べた内容を表現す

る場となることが多い。

ここまでジグソー法を取り入れた学習活動のメリットを述べてきたが、当然デメリットも存在する。エキスパート活動で担った学習内容以外の分野では理解度がどうしても落ちてしまう恐れがある。そのため、担当する教師はエキスパート活動後の共有する場面でそれぞれの学習内容のポイントなどを挙げて、定着させる必要があるだろう。その点を考慮してジグソー法を取り入れれば、主体的・対話的で深い学びを促すことができると考える。

4 ルーブリックを共有したまとめの評価

本単元のように、生徒のグループによる調べ学習を核とした協働的な学びを行った場合、九州地方の学習内容を生徒個人がどのように習得し活用しているか、教師の見取り（評価）が必要となる。そこで、単元の最後に、まとめとしてレポートによる課題を出した。単元を貫く問いに対するレポートとなるよう、レポートの課題を「九州地方の自然環境は、人々の生活や産業（第1次産業【農業】・第2次産業【工業】・第3次産業【観光】）にどのような影響を与えているのだろうか」とし、学習活動を生かせる内容とした。生徒自身がレポートを自ら修正できるよう、ルーブリック「学びのコンパス」を作成し、事前に提示した。教師がクラス全員のレポート作成の過程で、一人ひとりに支援するのは難しいため、ルーブリックを生徒自身が確認しながらレポートを作成できるかが、ポイントである。ルーブリックがつねに手元にあることで、レポートが苦手な生徒であってもまったく書けなかったり、レポートの趣旨や方向性がずれていったりすることが少なくなったと感じた。ルーブリック「学びのコンパス」については、指導と評価の一体化を意識して3つの観点で作成した（図5）。「知識・技能」の観点は、「九州地方の生活・つながり・工業・南西諸島の産業や文化・歴史の視点を使ってレポー

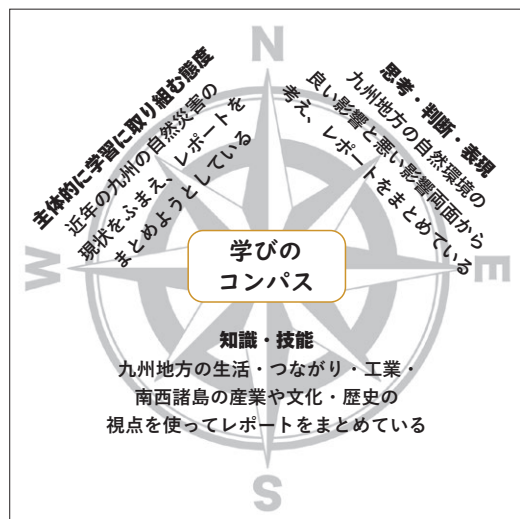


図5 レポート作成時に提示したルーブリック「学びのコンパス」

トをまとめている」とした。ジグソー法を取り入れた活動のなかで、自然環境と関連付けて学んだ生徒は、九州地方の生活について、温暖な気候と関連付けて「福岡地方では稲作が終わった後の水田で、小麦や大麦といった米以外の二毛作がさかん、宮崎平野ではビニールハウスを利用した生鮮野菜の促成栽培がさかんである」と述べる事ができた。また、南西諸島の産業について、南西諸島の気候の特色と関連させ、高温な気候に強いさとうきびやパイナップル、マンゴーの栽培について述べる事ができた。「思考・判断・表現」の観点は、「九州地方の自然環境の良い影響と悪い影響両面から考え、レポートをまとめている」とした。九州地方の自然環境の良い影響としては、「亜熱帯気候を生かした沖縄の観光業や冬でも温暖な気候を生かしたスポーツキャンプの誘致、温泉を生かした街づくりや地熱による発電」などについて述べる生徒が多くいた。悪い影響を防ぐ取り組みとして、防災の観点からは具体的に、「火山活動が活発な南九州の地域では、火山灰や地震に強いシェルターを造り、避難訓練の実施を定期的に行っている」と述べた生徒も多くいた。教師にとって評価が一番困難である「主体的に学習に取り組む態度」の観点については、「近年の九州の自然災害の現状をふまえ、レポートをまとめようとしている」とした。教育学者のニューマン(F.M.Newmann)らが提唱する「真正の学び」の基準の1つである「教室を越えた世界とのつながり」を実感できる設定を意識した。レポート作成中は、生徒の手にICT機器・タブレット

トを用意させ、近年の九州の自然災害を調べさせ、自然と共生する生き方を意識させるレポートとなるように支援した。生徒の中には、自分たちが住む福岡地方で毎年のように起こる豪雨被害について調べ、レポートに生かす者も多くいた。近年急激に進む地球温暖化・地球沸騰化の時代を生き抜く生徒にとっては、自らが住んでいる地域、これから住むであろう地域の自然災害を知って対策を打つ視点が重要であり、地理的分野の学習がその一助になれば幸いである。

5 おわりに

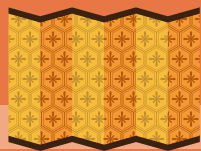
本授業実践では、協働的な学びの実現を意識したジグソー法を取り入れた学習活動を設定し、単元の学びを構想した。また、必要な知識を習得する場面では生徒自身が学びを実感できるよう写真資料の読み取り、地図帳の複数の主題図の関連付け（人口と地形の関係性等）を行う場面を設定した。生徒の調べ学習で陥りがちな、教科書の記述からのみの調べ学習や、単一資料読み取りのみの調べ学習とならないように意識し、学習過程を組み立てた。生徒の深い学びを実現するためには、このように教師が活動のなかで生徒に気付かせる場面は欠かせない。また、生徒が主体的に学びに向かうためには、適切なタイミングでの教師の介入が必要である。教師の介入による教授の重要性といった「不易」な部分と、生徒の活動を主体的・対話的で深い学びにしていける「流行」の両輪を働かせていくことが、これからますます重要になっていくと感じている。

〈参考文献〉

- ・一般社団法人教育環境デザイン研究所 CoREFウェブサイト <https://ni-coref.or.jp/archives/5515>
- ・中央教育審議会答申（2021年1月）
- ・原田智仁（2018）『中学校 新学習指導要領 社会の授業づくり』明治図書
- ・岩田一彦（2001）『社会科固有の授業理論 30の提言』明治図書

帝国書院のWebサイトに、
ワークシートを掲載いたします。





歴史

二度の世界大戦と日本

—歴史から学んだことを、
これからの人生に生かす—

東京都 中野区立明和中学校 主任教諭 長井 利光

1 はじめに

これまで3年生の歴史的分野で太平洋戦争を扱うとき、戦争に関する身近な地域の歴史に触れてきた。1945年3月10日未明からの東京大空襲を学ぶ際には、当時を体験した方の話を聞き、授業を行ってきた。しかし、この単元を扱うにあたり、戦後70年以上経った今、戦争体験者から直接聞いた「歴史」は、遠い昔の話としてしか生徒に伝わっていないのではないかと感じてきた。そのような時、ロシアのウクライナ侵攻が報道された（写真1）。これまで遠い



写真1 朝日新聞 朝刊（2022年2月25日 記事中の写真は省略）

昔のことと感じていた戦争の歴史を、世界で起きている現状に触れずに、ただ「歴史」として教えるだけでよいのか考えるようになった。このことから、「ロシアのウクライナ侵攻」にも触れながら「単元を貫く問い」を設定した実践を、昨年行った。

今回、その実践を基に、『社会科 中学生の歴

史』（以下、教科書）第5章「二度の世界大戦と日本」の授業提案をしたい。歴史から学んだことをどのようにして生徒がこれからの人生に生かすことができるのかを考察したことも、あわせて紹介する。

2 「単元を貫く問い」を設定する

教科書第5章「二度の世界大戦と日本」の第3節「戦争に向かう世論」から第4節「第二次世界大戦の惨禍」（p.232～253）までを内容のまとまりとした。具体的には、世界恐慌から日本の終戦までである（全10時間）。

ここでの「単元を貫く問い」を以下に設定する。

「なぜ、二度も世界大戦が起きたのだろうか？
また、二つの世界大戦が世界に与えた影響とは何だろうか。これまで学んだ戦争の歴史を踏まえて、どのようにしたら、世界は平和になれるのだろうか？」

この“答えのない問い”については、ただ「平和」についての感想をまとめるのではなく、“歴史学習を根拠”に考えることとしたい。生徒が学んだ歴史学習を踏まえて、平和について自分なりの考えを持つことができるような問いである。授業は、ワークシート（図1）を使って進める。

「単元を貫く問い」に対しては、最初に生徒に予測を立てさせたい。すでに学んでいる第一次世界大戦を踏まえることや、この後に第二次世界大戦が起こることも想定して、最後の問いへつながる予想をさせる。「学びの予測」を立てることは、「主体的に学習に取り組む態度」を見取る上でも、非常に重要である。さらに、

令和4年度 中野区立明和中学校 3年社会・歴史(長井) 第5章・二度の世界大戦と日本(関)特別
 <教科書 P232-253> 戦争に向かう世論 第二次世界大戦の惨禍 3年 組 番 氏 名

【単元名】「二度の世界大戦と日本」 恐慌から第二次世界大戦へ・日本の敗戦

【単元を貫く問い】
 なぜ、二度も世界大戦が起きたのだろうか？ また、二つの世界大戦が世界に与えた影響とは何だろうか。これまで学んだ戦争の歴史を踏まえて、どのようにしたら、世界は平和になれるのだろうか？
 (第一次世界大戦、第二次世界大戦が起こった原因や影響は何だろうか。このような歴史を学んで、現在との共通点や、これらの平和な未来について考える)
 【学びの予測】第一次世界大戦から世界恐慌を経て、これから、世界はどのようになっていくのだろうか。
 これから戦争の歴史を学ぶ前に、単元を貫く問いを予測してみよう。

【★考えるポイント】・第一次世界大戦後と世界恐慌について触れられている。・これらの世界の歴史について自分なりの考えが述べられている。図1 A・B・C

【世界の戦争】	【日本の戦争】
<p>【1】世界恐慌とファシズムの台頭</p> <p>○キーワード 【ワークシート NO.3】 ・世界恐慌 ・プロテクト経済 ・ニューディール政策 ・ファシズム</p> <p>□1. 世界恐慌後、各国はどのような対策を取ったのだろうか？</p> <p>【★考えるポイント】 ・結果を比べて、各国がどのような対策を行ったのか具体的に記入されている。</p>	<p>【2】経済と外交の行きづまり</p> <p>○キーワード 【ワークシート NO.4】 ・昭和恐慌 ・満洲国 ・国際連盟脱退</p> <p>□2-1. 世界恐慌の流れに関連して日本はどのような選択をしたのだろうか？</p> <p>【★考えるポイント】 ・世界の国々と比較して共通点は何か、その上で日本が取った選択が明確である。図1 A・B・C</p>
<p>【3】軍備の合戦</p> <p>○キーワード 【ワークシート NO.5】 ・五・一五事件 ・二・二六事件 ・国家総動員法</p> <p>□3. 日本はなぜ新たな戦争に突入していったのだろうか？</p> <p>【★考えるポイント】 ・五・一五事件や二・二六事件を踏まえて記述されているが、戦争後の社会への影響は何か。図1 A・B・C</p>	<p>【4】第二次世界大戦の始まり</p> <p>○キーワード 【ワークシート NO.6】 ・ポーランド侵襲 ・三民主義 ・アウシュビッツ収容所</p> <p>□4. 第二次世界大戦が起こり、ドイツが世界に与えた影響は何だろうか？</p> <p>【★考えるポイント】 ・第二次世界大戦は、どのようなグループの対立か。 ・ドイツが戦争で与えた歴史的影響とは何か。図1 A・B・C</p>
<p>【5】太平洋戦争の始まり</p> <p>○キーワード 【ワークシート NO.7】 ・東京大空襲 ・原子爆弾 ・ポツダム宣言</p> <p>□5. 太平洋戦争が起こり、戦時下の人々の生活を踏まえて、戦争をどのように考えますか。</p> <p>【★考えるポイント】 ・戦時下における人々の暮らしについて具体的に書かれている。 ・戦争について自分なりの考えが書かれている。</p>	<p>【単元を貫く問い】 【★単元を貫く問いに対する自分なりの考え】</p> <p>なぜ、二度も世界大戦が起きたのだろうか？ また、二つの世界大戦が世界に与えた影響とは何だろうか。これまで学んだ戦争の歴史を踏まえて、どのようにしたら、世界は平和になれるのだろうか？</p> <p>【★考えるポイント】 ・第一次世界大戦、第二次世界大戦が起こった原因とは何か。 ・二つの戦争が世界に与えた影響とは何か。 ・戦争を踏まえて、これからの平和な世界について自分なりの考えが書かれている。図1 A・B・C 図1 A・B・C 図1 A・B・C</p>

図1 「単元を貫く問い」を記したワークシート (一部変更)

授業ごとに問いを設定した(図1のワークシート中□1~5)。その際、ワークシートの左側には「知識・技能」に関するキーワードを、下の欄には【★考えるポイント】として、どのように記述すればよいのかを示した。この【★考えるポイント】は生徒への評価基準を示したものである。

授業を進めて行く過程で、ワークシートには「世界の戦争」と「日本の戦争」で関係のあるものには＝で結び、時間軸を➡でつなげる。最後に「学びの予測」やこれまでの記述をすべて読み返し、「単元を貫く問い」のまとめを記述させる。授業者の評価の詳細は次の通りとし、評価の観点()に記す。授業ごとに生徒の記述に評価をつけるが、すべての授業で評価をつけるわけではない。

- ・第一次世界大戦、第二次世界大戦が起こった原因とは何か理解している。(知識・技能)
- ・二つの戦争が世界に与えた影響とは何かにつ

いて多面的・多角的に考察し表現している。

(思考・判断・表現)

- ・戦争を踏まえて、これから平和な世界について主体的に追究し、自分なりの考えが書かれている。(主体的に学習に取り組む態度)

3 現在との「共通点」を探る

学んだことをどのようにして自分の人生に生かすことができるのだろうか。現在起きているロシアのウクライナ侵攻を報じる新聞記事(写真1)を示し、生徒の考えを深めさせたい。

歴史学習において、現在進行形の問題を取り上げるのは難しい。実践では当初、「単元を貫く問い」の欄外に、インターネット等から調べた情報を記入していくことも考えたが、それらは「歴史」として評価がされておらず、情報としても不確かな状態のものもあるため、授業で活用することは難しい。考えたのは、過去と現

在の状況での「共通点」を探ることである。

次の新聞記事と資料（日本が国際連盟を脱退したことを報道する1933年2月25日の新聞と満州国に関する資料）を取り上げる（図2）。



図2 「社会科 中学校の歴史」 p.236

実践では生徒に「なぜ、日本は満州国をつくったのか?」と「国際連盟の反対を受けて、日本はどのような対応をしたのか?」と発問してみた。生徒からは、「満州国を支配することで恐慌による日本国内の不景気の対策をするため」として国際連盟を脱退する意見が多かった。

同時に、ロシアのウクライナ侵攻における新聞記事を引用する。

ウクライナ侵攻をめぐり緊急に開かれた国連総会では、ロシアの孤立ぶりが印象的だった。(中略)ロシアの大使の発言は「責任はウクライナの現指導部と西側諸国にある」だった▼戦前の満州事変のあと、日本の立場もかくのごときものだったか。(中略)日本代表の松岡洋右はこう訴えた。極東の混乱の原因は中国の無秩序にある。日本は最大の被害を受けている——。歴史は繰り返すのか。いかに孤立しても間違った方向が修正されない(中略)がれきが広がる映像の裏で、一体どれだけの命が失われたのか。軍事施設しか攻撃していないというウソを、ロシア国民が信じるとまだ思っているのか▼満州事変から泥沼の日中戦争へと、破滅の道を進んだのが日本の歴史だ。(後略)

朝日新聞「天声人語」一部抜粋(2022年3月3日)

現在起っている出来事について、すべてを知ることはできなくても、歴史上の出来事と現在起っている出来事の共通する部分について

触れることはできると考えた。新聞記事は、日本が国際連盟を脱退した事実と国連総会でのロシアの発言が国際連盟脱退時の日本の主張と類似している点に注目して、歴史が繰り返される可能性について指摘している。この資料を活用し、「歴史から学んだこと」を、現在起っている出来事を考える際に生かすことができないかと授業で引用した。

生徒には、上記の新聞記事を読んだ後、ワークシート(左)の□2-2の問いに記述させる。実践での生徒の記述を一部抜粋する。

自国を正当化していることが共通点だといえる。他国からの意見を聞き入れず、結果的に国際連盟の脱退や国際連合での孤立という道に進んで行ってしまった。自分たちの正当化が戦争の原因だと考えると、私たちは「違う視点から自らを客観視する」という能力を学び、養わなくてはならないだろう。

ワークシート(左) □2-2に対する生徒の記述(一部抜粋)

日本が国際連盟を脱退したことを踏まえて、現在起っている出来事と歴史で学んだ出来事との共通点を探ることで、生徒はより深い思考を行い、さらにその後に続く、日中戦争や第二次世界大戦の授業を通して、「平和とは何か」を考えるきっかけとした。

4 平和について考える

満州事変から日中戦争、第二次世界大戦から太平洋戦争について、日本の軍部の台頭、ドイツのポーランドへの侵攻などから、さまざまなアプローチが可能である。また、実践では、日本の東京大空襲を扱う際には、身近な地域の戦争の歴史を調べさせた。特に中野区は当時の資料がよく残っており、空襲警報が鳴った期日や時刻、爆弾が投下された場所、学童疎開した小学生の人数や宿泊先まで資料になっている。戦争を実感としてとらえるためにも、これらを活用しない手はない。

日本の広島・長崎への原爆投下から、ポツダ

ム宣言を受け入れ降伏し、さらに当時のソ連が北方領土などに侵攻したことまで触れて、生徒は最後に「単元を貫く問い」をまとめることになる。実践での生徒の記述を一部抜粋する。

第一次世界大戦も第二次大戦も「支配」による戦いだと思う。(中略) 両者とも植民地に囚われていたと言える。(中略) つまり、この時は「支配」が重視されており、「支配」は国の強さを表すものと考えられていたと思う。だから、みんな植民地を広げたり、他国に侵略したのではないだろうか。(中略) 世界が平和になるためには、支配だけでなく国と国とが対等な関係をもち、相手を尊重すべきだと思う。歴史は繰り返されると学んできた。実際、今ロシアとウクライナの間で戦争が起きていて、大きな被害がおきている。(中略) 日本も無関係とは言えない。また、第二次世界大戦のような悲劇を繰り返さないためには、私たちが行動するべきではないだろうか。

「単元を貫く問い」に対する生徒の記述（一部抜粋）

「歴史から学ぶ」とは、その学びを現在、これからの人生に活用することだと考える。単なる学びで終わらせることなく、生徒自身の思考の基盤を培ってもらいたい。

5 地域の力を活用する

「平和とは何か」を考えさせた実践の後の3月、卒業の近い3年生に、「東京大空襲」について特別授業を行った。中野区の協力を得て、当時5歳で中野区で戦争を体験した方と、2022年2月24日にウクライナでロシアの侵攻を体験し、現在中野区に住んでいるウクライナの方を紹介していただいた。日本で戦争体験した方と、ウクライナで戦争体験した方を同時にお招きし、生徒に「平和とは何か」を改めて考える機会を持たせるとともに、日本の戦争を歴史から学び、その学んだことを、現在起こっている世界の問題について考えるきっかけを与えた。

戦争経験者からの言葉には重みがある。また時代を越えて戦争を体験した話とともに、現在進行形の戦争体験の話を聞いた生徒が何を感じるのか。そして平和について自分なりにどう感



写真2 2人の戦争体験者を招いて平和について考える特別授業（筆者撮影）

じるのか、平和な日本に生きている私たちは何をすべきなのか。授業後の生徒の感想を一部紹介する。

<「平和とは何か」特別授業の主な内容>

■中野区の戦争体験者から

- ・たび重なる空襲警報や防空壕への避難
- ・比較的食料があった当時の食料事情

■ウクライナの戦争体験者から

- ・街なかで多くの戦車を見かけた
- ・自宅近くに砲弾が落ちた
- ・常に命の危険を感じていた

※最後に生徒へ平和に関するメッセージ

■授業後の生徒の意見（一部抜粋）

- ・何度も命の危険を感じた。命は大切だ
- ・日本は平和主義で戦争をしない意味を考えた
- ・死んで活躍するよりも生きて活躍したい
- ・戦争は繰り返してはいけない
- ・しっかり自分の気持ちや意見を主張する
- ・正しく情報を共有して、私たちにできる事を考える

6 おわりに

今回、「単元を貫く問い」を通じて「平和」について生徒に考えさせた。さらに、実際に授業を受けて考えたことをきっかけとして、生徒が具体的に行動を起こせるような授業が求められている。戦争とは何か、平和とは何かを真剣に考え、自分には何ができるのか、さらにその後の人生に生かして行けるものと考えている。

帝国書院のWebサイトに、ワークシートを掲載いたします。





公民

起業と投資を 体験的に学ぶ授業の実践

東京都 町田市立薬師中学校 主任教諭 田代 憲一

1 はじめに

これから社会に巣立っていく生徒たちは、金融についての知識や判断力（金融リテラシー）が求められる現代社会を生きていくことになる。公民的分野の学習の中で、金融について正しい知識と判断力を育成する授業が必要である。判断力を育成するには、知識を学んだ後、判断を迫られる場面を設定した体験的な学びが有効であると考える。

そこで、金融の中でも起業と投資を体験的に学ぶ単元を実践した。この単元を実践した理由は、次の3点である。1つ目は、起業や投資などを学ぶ金融経済教育が学習指導要領でも重視され、2024年からNISAが新制度になるなど近年より一層重要性を増していること。2つ目は、起業や投資を体験的に学習するという「主体的・対話的」な学びによって、金融のしくみや働きについてより深く理解できること。3つ目は、ICTを活用するとともに、部分的にアナログな手法を用いることでより実感を伴った学習になることである。

この単元では、「なぜ起業や投資が社会に必要とされているのか？」を単元を貫く学習課題として追究していく。単元の中で、起業や投資を体験的に学ぶことで、「主体的・対話的」な学習が展開され、社会における起業や投資の必要性についてより深く学ぶことができると考えられる。

本稿は、『社会科 中学生の公民』（以下、教科書）p.127～134の学習内容を筆者の過去の実践を基に授業実践提案として再構成したもので

ある。教科書の単元構成とは異なる部分もあるが、生徒にとって有意義な学びになると考えた。

2 実践事例

（1）単元案（全6時間扱い）

次	時	学習内容
第1次	1.5	<ul style="list-style-type: none"> 単元の学習課題に対して予想したり、学習の見通しを持ったりする。 企業の種類と役割、株式会社のしくみ、金融のしくみと働きについて理解する。
第2次	2.5	<ul style="list-style-type: none"> 個人で新しい会社の事業計画を考える。 グループ（生活班）で、会社の役割を決め、事業計画を話し合う。 役割ごとに分担して、会社紹介に向けた資料（スライドなど）を作成する。
第3次	2	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに会社紹介を行い、どの会社にくら投資するのかを考える。 クラス全員で投資を行い、それぞれの会社がいくらの資金を集めたのかを確認して、資金が多く集まった理由を考える。 株価の変動によって自分の投資がどのように変化するのか計算する。 金融によるリスクとリターンのか考え方を理解する。 単元の学習課題について、複数の視点から起業と投資の必要性をまとめる。

（2）第1次

この単元の導入部であり、単元後半の体験的な学習の基礎となる知識を理解させることがねらいである。

授業の導入では、ニュースなどを使って起業や投資に興味を持たせた後、単元の学習課題である「なぜ起業や投資が社会に必要とされているのか？」について予想させる。単元の学習の流れを説明することで、学習の見通しを持たせるとともに学習意欲を高める。

次の展開では、知識の理解を目的とした授業であっても、企業活動が私たちの生活に深く結びついていることを生徒の生活経験から気付かせたり、大企業と中小企業の違いを資料から読み取らせたり、直接金融は企業と株主それぞれにどのような利点があるのかをペア学習で話し合わせたりするなど、思考を通して知識を獲得させる工夫を行う。

(3) 第2次

第1次の知識を基礎に、協働学習により起業を体験的に学ぶことがねらいである。

はじめに、個人作業で会社の事業内容を考える。誰を対象とするのか、どのような商品やサービスを提供するのか、売るためにどのような工夫をするのか、販売価格はいくらでどのような支払方法があるのかなど、1人1台の情報端末を使って調べながらワークシート（図1）での作業を進める。その際、今の世の中でどのような商品やサービスがあればより多くの人々が喜ぶのかという視点で考えさせる。

____月____日(____)

公民の授業プリント 年 組 番 名前

～ 起業と投資 ～

学習課題 **なぜ起業や投資が社会に必要とされているのか？**

●仕事の種類

業種	事業内容	業種	事業内容
製造業	ものをつくる。	エネルギー業	エネルギーを供給する。
小売業	消費者へ商品を販売する。	水産・農林業	食料や材料を生産する。
運輸業	陸海空で人やものを運ぶ。	鉱業	資源を採掘する。
建設業	人が生きる空間をつくる。	金融・保険業	お金を扱う仕事。
サービス業	さまざまなサービスを提供する。	不動産業	土地に関係する仕事。
情報通信業	情報を人々に届ける。		

誰に向けて、どのような商品やサービスを提供したら喜ばれるのかを考えよう。

Q あなたがやりたい会社（株式会社）の事業内容を考えて。

Q誰（どのような人たち）を対象とするのか？

Qどのような商品・サービスを提供するのか？（具体的に考えよう）

Q商品・サービスを売るためにどのようなこと（企画）をするのか。（具体的に考えよう）

図1 ワークシート①

次にグループになり、株式会社を設立する設定での事業計画を話し合う（実践では生活班の5～6名、計6班で行った）。その際、会社の中の役割（社長、企画、営業、広報）を分担さ

せる。事業計画では、会社のリスク（株価が下がる原因など）、社会貢献活動、株主優待の内容、株主へのアピールなども考えさせる。グループ協議によって事業計画が出来たら、会社紹介のための資料作りを分担して行う。その際、Googleドライブ内などに①発表原稿ドキュメント（社長役が作成）、②会社紹介スライド（企画・営業役が作成）、③会社カードスライド（広報役が作成）の資料を作らせ、ICTを活用した準備を行う。その際、次時に行う株式投資を判断する4つのポイントを説明して、資料作りの参考にさせる。

会社紹介スライドは、会社の事業内容について説明したもので、社長役の生徒はこのスライドを使いながら会社の魅力を伝える（図2）。

企画内容

- ・スーパーで売られている食材や旬の食材を使用したメニューをオススメの食べ方でご提供
- ・レストランで提供している気になったメニューを自宅でも作れるようにレシピカードを準備して、購買につなげる工夫
- ・主に大型店に併設することで十分なスペースを確保

図2 生徒が作成した会社紹介スライド

会社カードは、1枚のスライドに社名、会社の紹介や事業の魅力を書いたもので、会社紹介の際に印刷して生徒全員に配布する（図3）。

3-1 5班

株式会社 ○○カンパニー

コンセプト：身近で美味しい料理で人々を笑顔に

- ・主なサービス
お客様が購入したスーパーの食材を調理、レシピカードの配布
し、常にご自宅の料理を提供でき、ご家庭で料理を作るきっかけにも
- ・主な社会貢献
売れ残りを活用…食品ロスの削減
売上の一部を発展途上国に寄付…貧困問題の解決に貢献
- ・株主優待
100株…半年に1回ご優待券（3000円分）の贈呈
300株…半年に1回ご優待券（5000円分）の贈呈

図3 生徒が作成した会社カード

実践ではこのほか、自然豊かな宿泊施設を運営する会社、筋力強化のためのジムを運営する会社、総合商業施設の運営会社、新技術を導入した運輸会社など、多種多様な会社が構想された。

(4) 第3次

第2次で起業された会社の説明を聞き、株式投資と株価の変動による投資額の変化を体験的

に学ぶことがねらいである。

まず、社長役の生徒が、会社紹介スライドを使って会社の事業を説明する（写真）。発表は、1グループ5分程度とする。新商品・サービスのアピールだけでなく、自社の社会貢献や株主優待の説明をして、多くの人に株式を買ってもらえるように工夫した発表をするように指導する。



写真 社長役の生徒による会社の説明（筆者撮影）

発表を聞いている生徒は、どの会社にくら投資するのかを考える。なお、自社以外の会社への投資とする。一人一人の株式投資の資金を100万円として、10万円単位で投資を行う。すべてのグループの会社の株価を1株1000円とする。例えば、1班の会社に10万円投資したら、1班の会社の株式を100株購入することになる。

株式投資を判断する視点として表1の4点を提示し、会社紹介の発表を聞きながら、それぞ

表1 株式投資を判断する4つの視点

投資（株式購入）のポイント		
1	売れそうか	会社が提案する商品・サービスは、魅力的なものか。たくさん売れるのか（ほしい人がたくさんいるのか）。価格は適当な金額か。
2	実現できそうか	実現可能な商品・サービスの内容か。リスクを考慮して、倒産しないで長期的に利益を得ることができる会社か。
3	社会に貢献できそうか	この会社は世の中に役立つ会社か。この会社の社会貢献は、より良い社会づくりにつながるのか。
4	応援したいか	会社の説明（プレゼンテーション）を聞いて、自分が株主となって応援したくなったか。株主優待は魅力的なものか。

れの会社の評価をワークシートに書き込む。投資先と投資額を決め、その理由をまとめる。その際、投資額から各社の購入株数を計算する。100万円すべてを株式購入に使い、購入した株数の合計が1000株になっているか確認する。

投資先と金額が決まったら、実際に投資を行う。全員に10万円と書かれた紙を10枚セットで渡し、黒板に貼られた各会社の封筒に投資する金額に合わせた枚数を入れる。例えば、30万円の投資なら3枚入れる。アナログな手法だが、投資（金銭を投入する）の感覚を実感できる。投資が見える形で行われるので、生徒も盛り上がる。投資後、社長役が封筒の中の投資額を計算して発表する。投資額が一番多かった会社について「なぜたくさんの資金を集めることができたのか?（「魅力的な会社」とは、どのような会社なのか?）」と自社の「事業内容やプレゼンの反省点(改善点)は?」をグループごとに話し合い、ワークシートに記入し、発表する(図4)。

封筒を回収し、投資額を計算すると、
私たち3年（ ）組（ ）班の会社は、株式の売買で（ ）万円の資金を集めた。

③ 魅力的な企業

班	集まった資金額	班	集まった資金額
1	万円	4	万円
2	万円	5	万円
3	万円	6	万円

Q なぜたくさんの資金を集めることができたのか? その会社のどこに、どのような魅力があったのか?
(「魅力的な会社」とは、どのような会社なのか?)

Q 自分の班の会社の事業内容やプレゼンの反省点(改善点)は?

④ 株価の変動と投資
あなたが株式投資をしてから1年後、6つの会社の株価は変動していた。

会社	株価の変化	会社	株価の変化

図4 ワークシート③

実際には、株価はさまざまな要因によって変動する。株価の変動が生徒の株式投資にどのような影響を与えるのかを体験させ、どのような投資をすることでリスクを抑えられるのかを考

えさせる。

実践では、株式投資してから1年後の各社の株価の変動は、教師が設定した6パターン（図5）から抽選で決めることとした。社長役の生徒が、封筒に入っている株価の変動が書かれた紙を1枚引き、その内容に沿った自社の1年後の株価を発表する。

新商品・新サービスが海外で大ヒット!! 海外進出を進める。株価が2000円になった。	宣伝の効果あり!! 新商品・新サービスが国内で大ヒット!! 株価が1500円になった。
新商品・新サービスがテレビで取り上げられ、ヒットの予感!! 株価が1200円になった。	客のイタズラ動画が拡散して、イメージダウン。株価が800円になった。
新商品・新サービスの問題点がテレビで取り上げられ、大ダメージ。株価が500円になった。	会社の不正が発覚して大きな社会問題になり、会社は倒産した。株価が0円になった。

図5 今回設定した株価変動の6つのパターン

上記の株価の変動によって、自分の株式投資にどのような影響があったのか、各社の保有している株式数から1年後の株式の価値を計算して、100万で始めた投資が合計でいくらの損失、または利益があったのかを明らかにする。計算がやりやすいように、ワークシートに例を示したり、カッコに穴埋めする形にしたりするなどの工夫を行う。

各自の株価の変動による株式投資の影響を踏まえて、株式投資のリスクとリターンについては、教科書p.134「技能をみがく8」中の「4 金融商品のリスク（利益の振れ幅）とリターン（利益）」の内容を確認しながら、「株式投資をする場合、どのように投資すればリスクを抑えることができるのか」を自分の投資の仕方から考えさせ、ペア学習で話し合わせる。また「株式以外にどのような投資があるのか」と発問し、預金、債券、投資信託などの金融商品の特色に注目させる。投資する際には、金融商品ごとのリスクとリターンを知ったうえで、選択していくことの大切さを説明する。

最後に、単元のまとめとして、学習課題「なぜ起業や投資が社会に必要とされているのか?」について、その理由を起業する人、投資する人、一般市民、政府などの複数の立場からまとめる。評価に関しては、以下のように設定した。

表2 単元のまとめの評価基準

評価	評価基準（思考・判断・表現）
A	金融のしくみや影響を正確に記述し、3つ以上の立場から理由を記述している。
B	金融のしくみや影響を正確に記述し、2つの立場から理由を記述している。
C	金融のしくみや影響の記述が不正確で、1つの立場からしか記述していない。

3

おわりに

実践での単元のまとめの記述内容を見ると、多くの生徒が、起業や投資の必要性を複数の立場、状況から考察していた。これは、起業や投資を体験的に学ぶことで、企業と金融のしくみとそれらが社会に与える影響についてより深く学ぶことができたからである。

また、単元後の感想では、「起業する人、投資する人が増えていくことで社会全体が良くなり、日本の発展につながるものが学べたので、私も大人になったら少し関わってみたいと思いました」など、この単元の学びから社会に主体的に関わっていこうとする姿勢が見られた。

単元の中に判断や選択を迫る体験的な学びを取り入れることで、生徒の主体性が引き出されるとともに、社会のしくみをより深く学ぶことができる。このような学びを多くの単元で実施し、生徒が今後生きていくときに必要とされる知識や判断力を育成していきたい。

<参考文献>

- ・金融経済教育を推進する研究会編（2021）『金融・経済の授業づくりをサポート 中学校公民 学習指導案（金融・経済関連）』p.37-71

帝国書院のWebサイトに、ワークシートを掲載いたします。



近代の紙幣と肖像

日本銀行金融研究所貨幣博物館 主任学芸員
関口 かをり

新しい紙幣の肖像 渋沢栄一と紙幣の歴史

2024年7月に20年ぶりに新しい日本銀行券が発行される。そのうち一万円券は40年ぶりに肖像が変わり、渋沢栄一（1840-1931）となる。

渋沢栄一（以下、栄一）が第一国立銀行の頭取となるまで、何回もお金の発行に深く携わった。この関わりを辿ると幕末から明治初期の紙幣の歴史が見えてくる。

栄一は、財政再建の使命を担い1864年から一橋家に仕えた。領地播磨の特産品である良質な木綿を集めて大坂に販売することを考え、播磨国今市村（現兵庫県高砂市）に「産物会所」を開設した。この「産物会所」を発行元として地域で使える紙幣「御産物木綿預手形」を発行。幕府発行の貨幣（正貨）との引換を円滑に行って紙幣への信用を高く維持し、額面割れすることなく流通したといわれる。こうして紙幣を活用したこの地域の経済活性化、財政再建は軌道に乗った。

日本の紙幣の歴史は17世紀初めから始まる。江戸幕府は紙幣を幕末まで発行せず、この今市村の紙幣のように各地域の領主などが発行元となり、地域限定で使える紙幣（主として「藩札」など）の歴史が、明治初期まで約270年続いた。その後全国で通用する紙幣が発行されるという歴史であり、古代から続く金属のお金の長い歴史と比べると、全国通用の紙幣の歴史は、まだ150年程度の歩みである。

明治初期：全国で使える紙幣の発行

栄一は1868年、静岡藩へ仕官した。この時期、新政府は日本最初の全国通用の紙幣「太政官札」（「両」単位の政府紙幣）を発行した。政府は経済振興を図って各藩へ政府紙幣の貸し付けを行い、栄一は、静岡藩へ貸し付けられた政府紙幣で米や肥料を購入した。

1869年末から栄一は明治政府へ仕官し、大隈重信らの下で新しい貨幣単位「円（圓）」を定める「新貨条例」（1871年公布）の立案に携わり、新しい「円」単位の貨幣と旧金銀貨や藩札との交換の実務的なルール作りに尽力した。また栄一は大蔵省で「国立銀行」（紙幣発行のできる民間銀行）の制度設計に携わり、1872年に国立銀行条例が制定された。栄一は間もなく政府を辞し、「第一国立銀行」の開業に力を注ぎ、1875年にはその頭取となった。

西南戦争の1877年から翌年にかけて、政府紙幣と国立銀行紙幣の発行が増え、その後、紙幣の価値が下落した。政府内部では、紙幣の価値を安定させるため、紙幣を一元的に発行する中央銀行が必要であるとの議論が高まり、1882年に日本銀行を設立し、1885年に最初の日本銀行券が発行された。明治初期に発行された政府紙幣と国立銀行紙幣は徐々に回収され、1899年には無効となり紙幣は日本銀行券に統一された。

戦前～戦後：日本銀行券の肖像の変遷とその時代背景

最初の日本銀行券の図像は江戸時代の藩札などでも福の神として親しまれていた大黒像であった。しかし紙質に問題があったことや偽造紙幣の増加により、すぐに次期紙幣の検討に入った。欧米諸国では紙幣に「帝王・大統領・宰相・国家有功著顕者」（1887年7年大蔵省請議、以下同）の人物の肖像が導入されており、その理由は「人民ヲシテ愛敬心ヲ生セシムル」ことと、「彫刻上贋造シ難ク随テ其ノ真贋ヲ判別シ易キノ便」で、日本でも人物の肖像が採用されることとなった。1887年、日本武尊、武内宿禰、藤原鎌足、聖徳太子、和気清麻呂、坂上田村麻呂、菅原道真の7名が、「贋造ニ難クシテ真贋ヲ識別シ易ク且本邦上古洪勲偉績アル人像」としてその後の日本銀行券の肖像となることが定められた。第二次世界大戦までは、このうち坂上田村麻呂を除く6名が紙幣の肖像に度々採用されることとなった。

戦後しばらくは肖像の決定にGHQの事前承認が必要となり、一円券で予定されていた武内宿禰は軍国主義のシンボルとして変更を求められ、二宮尊徳となった。その次の日本銀行券の肖像は印刷局が候補として出した20名からGHQの承認、更なる選定を経て、聖徳太子、岩倉具視、板垣退助、高橋是清となった。戦前に紙幣の肖像であった者のうち、聖徳太子だけが戦後にも採用された。

おわりに 現在の肖像画の人物の選定

現在、日本銀行券の肖像や様式は財務大臣が決定している。紙幣の肖像となる人物選定に明確な基準はないが、近年は、偽造防止の観点から、なるべく精密な写真を入手できること、肖像彫刻の観点からみて、品格のある紙幣にふさわしい肖像であること、肖像の人物が広く知られ、その業績が広く認められていること、といった観点を踏まえて、明治以降の人物から採用されている。

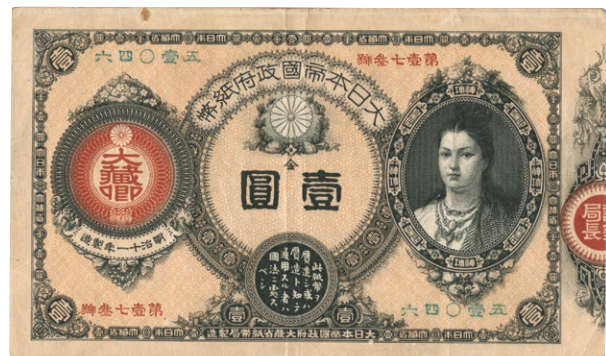
新しいお札の肖像は栄一のほか、五千円券は津田梅子に、千円券は北里柴三郎になる。手にするまであと約8か月、3人の近代日本への功績などに思いを馳せる。



①国立銀行紙幣：十円
(1873年) 80×190ミリ
頭取 渋沢栄一と記されている。



③最初の日本銀行券 十円
(1885年) 93×156ミリ



②神功皇后が描かれた政府紙幣：一円
(1881年) 77×131ミリ



④人物の肖像（藤原鎌足）が
描かれた日本銀行券：百円
(1891年) 130×210ミリ

⑤戦後の日本銀行券：一円
(1946年) 68×124ミリ
肖像は二宮尊徳



⑥戦後の日本銀行券：百円
(1946年) 93×162ミリ
肖像は聖徳太子



写真は実物の約60%の大きさ。①～④：日本銀行金融研究所貨幣博物館所蔵、⑤⑥：国立印刷局 お札と切手の博物館所蔵

